

令和8年度第1回豊明市地域公共交通会議 次第
(豊明市地域公共交通活性化協議会合同会議)

日時 令和8年7月14日(火)
午前10時00分から
場所 豊明市役所4階 第1委員会室

1 委嘱状交付

2 会長・副会長・監査委員の選任

3 会長あいさつ

4 議 題

【協議事項】

- (1) 令和7年度事業報告及び歳入歳出決算報告について(資料1-1～1-3)
- (2) 令和7年度豊明市地域公共交通計画の評価等について(資料2-1～2-2)
- (3) 東郷・藤田医大バスの廃止について(資料3-1～3-2)
- (4) 地域公共交通計画策定事業について(資料4-1～4-2)
- (5) チョイソコとよあけのアップデートについて(資料5)

【報告事項】

5 その他

事業名			事業内容	実施主体	計画	実施内容(令和7年度)
基本方針1	地域公共交通の確保・維持・改善	都市間幹線	名鉄名古屋本線 (需要に応じたサービスの提供継続)	交通事業者	継続	継続
		広域幹線	名鉄バス (需要に応じたサービスの提供継続)	交通事業者	継続	継続
		都市連絡路線	ふれあいバス、東郷・藤田区大バス (需要に応じたサービスの提供継続)	周辺市町・行政	継続	継続
		市内幹線	名鉄バス (需要に応じたサービスの提供継続)	交通事業者	継続	継続
		拠点連絡路線	ひまわりバス (需要に応じたサービスの提供継続)	行政・交通事業者	継続	継続 運行事業者選定プロポーザル 名鉄バス知立営業所が運行(令和7年4月から3年間)
		地域路線	チョイソコとよあけ (需要に応じたサービスの提供継続)	市民・行政・交通事業者	継続	継続 運行事業者選定プロポーザル ㈱あしんネットなごやが運行(令和7年4月から3年間)
			タクシー (需要に応じたサービスの提供継続)	交通事業者	継続	継続
			地域主体バス (導入検討・運行)	市民・行政・交通事業者	検討・準備	○令和6年10月 阿野町・阿外山・上石田地区でチョイソコ停留所を正式設置(実証実験令和5年9月～令和6年9月) ○ 令和8年1月 太閤地区でチョイソコの正式運行開始 (実証実験令和7年1月～令和7年12月)
基本方針2	公共交通の利用促進策	わかりやすい情報提供	公共交通利用に係る積極的な情報提供	行政・交通事業者	・公共交通利用者への情報提供 ・バスマップの設置・配布 ・公共交通を利用していない人への情報提供	○前後駅バス待合所に公共交通掲示板を設置継続 ○市広報紙の掲載(4回掲載) ・5月)ひまわりバス新デザイン ・8月)公共交通でのお出かけ促進 ・10月)バスデザイン市民投票、地域公共交通に関するオンライン意見募集 ・1月)バスデザイン決定 など ○会員向け情報誌「チョイソコ通信」での情報発信(毎月) ○転入者に対する公共交通マップ配布
			わかりやすい公共交通案内	行政・交通事業者	・わかりやすい情報提供システムの運用 ・車両や施設のわかりやすさ向上	○チョイソコマップのリニューアル ○バス停での路線表示(路線図・到着時間などの記載) ○バスロケーションシステムの継続 ○GTFSデータ整備の継続 Google検索可能
		公共交通の利用誘導	商業施設との連携	行政・企業・交通事業者	・外出促進イベントの実施	○チョイソコの協賛事業者との各種イベント実施 ○令和8年1月 尾三地域連携事業として、バスフェスティバルをイオン三好ショッピングセンターで開催
			教育機関との連携	行政・教育機関・交通事業者	・子どもへの交通教育	○名鉄バス機と連携し、バス乗り方教室を開催 5月館小学校(愛知警察署と連携)、10月 杏樹小学校、12月 栄小学校
			割引運賃・企画切符等の導入	行政・交通事業者	・割引運賃や企画切符の周知	○乗継券発行の継続
			高齢者に向けた環境整備と制度の拡充	行政・交通事業者	・安全・安心な利用に向けた乗務員教育 ・免許返納者への支援 ・高齢者や障がい者等への支援	○高齢者タクシー運賃助成事業(80歳以上の市民が対象) 500円×48枚 (令和5年11月～2月に実証実施、令和5年度3,760枚、令和6年度16,423枚、令和7年度以降は他事業に合併) ○ひまわりバス高齢者定期券の継続 (1か月500円 年間5,000円) ○免許返納者優遇措置の継続 (実績 令和3年85件、令和4年105件、令和5年107件、令和6年124件、令和7年度106件) ○障がい者・要介護者タクシーチケットの継続(実績 別紙個別評価資料)
			市民が主体となった公共交通の利用促進	市民・行政	・地域の各種団体への出前講座	
			乗継・待合環境の改善	行政・交通事業者	・乗継・待合環境の改善	○前後駅のバス待機列表示のリニューアル ○バス利用者のための待合ベンチを継続設置、 石塚公園バス停で新規設置 (合計17基)
			パーク＆ライド、サイクル＆ライドの推進	市民・行政	・駐輪場整備	○4施設でサイクル＆ライドを実施(市役所・文化会館・図書館・福祉体育館) ○二村山駐車場でパーク＆ライドを実施(勸使台区地域交通改善実行委員会)
			キャッシュレス決済の導入	行政・交通事業者	・キャッシュレス決済の導入	○チョイソコ車両へのキャッシュレス決済の導入
			車内の消毒・換気等の継続的な実施	交通事業者	・消毒・換気等の継続	○定期的な車内消毒・換気等の継続
			ノンステップバスの継続的な導入	行政・交通事業者	・ノンステップ車両の導入	○ ひまわりバス車両を更新(令和6年度、令和7年度 日野ボンジョ) 豊明高校イラストレーション部や市内小中学生からデザイン募集
		バスへの愛着 (マイバス意識)の向上	関係団体との連携による公共交通の利用促進	行政・関係団体	・イベント時の利用促進	○とよあけ秋まつりにおいて「ちびっこ運転士体験」を実施(11月 750人参加) シャトルバス1,304人 ひまわりバス無料乗車 480人
			企業と連携した取り組み	行政・関係団体	・広告やネーミングライツによる収入確保	○ひまわりバス車内及びバス停における広告掲載(通年)
			市民による各種活動の促進	市民・行政	・乗っていて楽しい案内や環境整備	○豊明高校イラストレーション部の作品をひまわりバス及びバス待合所に展示し、楽しい空間づくり(通年)
基本方針3	地域路線導入に向けた取り組み	地域主体組織の立上げ	地域主体組織の立上げ	市民・行政・交通事業者	・地域主体組織の立ち上げと支援	○勸使台区地域公共交通改善実行委員会への参画 ○ 太閤地区公共交通を考える会(ワークショップや説明会)を実施
	地域の輸送資源の総動員	他分野との連携	他分野との連携に向けた取り組み	市民・行政・教育機関・交通事業者・関係団体	・多様な関係者の連携・協働の推進	○タクシー会社への不審者情報・行方不明者情報発信による注意喚起及び情報提供依頼の継続 ○畜掛り学校スクールバスの運行を継続 ○高齢者の外出促進事業にて、らくらす(送迎バス)の運行 ○高齢者外出支援事業、障がい者タクシー助成事業等の継続

令和7年度豊明市地域公共交通活性化協議会 決算書（案）

歳 入 9,977,638円
 歳 出 9,977,638円
 差引残額 0円

【歳入の部】

(単位:円)

款	項	目	予算額	決算額	備 考	
1. 負担金	1. 負担金	1. 負担金	7,977,000	7,968,731	市負担金 市負担金の返還	10,020,000 -2,051,269
2. 補助金	1. 補助金	1. 補助金	2,002,000	2,002,000	地域公共交通確保維持改善 事業費補助金	
3. 繰越金	1. 繰越金	1. 繰越金	0	0		
4. 諸収入	1. 諸収入	1. 雑入	7,000	6,907	預金利息	
歳入合計			9,986,000	9,977,638		

【歳出の部】

(単位:円)

款	項	目	予算額	決算額	内 訳	
1. 運営費			0	0		
	1. 会議費	1. 会議費	0	0		
	2. 事務費	1. 事務費	0	0		
2. 事業費	1. 事業費	1. 事業費	9,986,000	9,977,638	地域公共交通調査事業 チョイソコアンケート 送付事務委託 消耗品費 手数料	9,790,000 184,393 1,925 1,320
3. 予備費	1. 予備費	1. 予備費	0	0		
歳出合計			9,986,000	9,977,638		

会 計 監 査 報 告 書

令和7年度豊明市地域公共交通活性化協議会の会計監査を令和8年3月31日に
実施し、会計簿及び証拠書類等を厳正に精査いたしましたが、いずれも正確厳正に
処理され、誤りのないことを報告します。

令和8年3月31日

監 事 尾崎 晋美

監 事 村山 富士子

令和7年度事業実施報告について

資料 1-3

事業名	豊明市地域公共交通調査事業
事業内容	
実施主体	豊明市
○令和3年度に策定された「豊明市地域公共交通計画（以下「公共交通計画」という。）」の評価及び次期公共交通計画策定に向けて市民・利用者等の多様なニーズや利用実態を把握し課題を整理するための調査を実施しました。 ・委託業者 株式会社 国際開発コンサルタンツ 名古屋支店 ・調査方法 各種アンケート、公共交通地域懇談会、高齢者向けインタビュー、交通事業者ヒアリング	
  	

事業名	①公共交通の利用誘導 ②バスへの愛着（マイバス意識）の向上
事業内容	①教育機関との連携 ②市民による各種活動の促進
実施主体	豊明高等学校・豊明市
○乗っていて楽しい環境整備 令和4年度から引き続き、令和7年度も豊明高校イラストレーション部とコラボし、ひまわりバス車内に学生が描いたイラストを掲示し、乗って楽しい車内環境を整備しました。 令和5年度からは前後駅バス待合所にもイラストを掲示しています。 ▼啓発イラスト一覧  	

事業名	①公共交通の利用誘導 ②バスへの愛着（マイバス意識）の向上
事業内容	①教育機関との連携 ②市民による各種活動の促進
実施主体	栄小学校・沓掛小学校・名鉄バス・豊明市
○バスの乗り方・安全教室の実施 令和7年10月14日（火） 豊明市立沓掛小学校 令和7年12月9日（火） 豊明市立栄小学校 名鉄バス㈱の協力のもと、小学校にバス車両を持ち込み、「バスの乗り方・安全教室」を実施しました。沓掛小では1年生、栄小では2年生を対象に実施し、普段触れることのないバス車両に興味を湧き、盛り上がっていました。 ▼バスの乗り方・安全教室 実施風景   	

事業名	①公共交通の利用誘導 ②バスへの愛着（マイバス意識）の向上
事業内容	①教育機関との連携 ②市民による各種活動の促進
実施主体	舘小学校・名鉄バス・愛知警察署・豊明市
○愛知警察署と連携をしたバスの乗り方・安全教室の実施 令和7年5月20日（火） 豊明市立舘小学校 名鉄バス㈱及び愛知警察署の協力のもと、小学校にバス車両を持ち込み、「バスの乗り方・安全教室」を実施しました。全学年を対象に実施し、実際にバスを走らせてバスの内輪差や制動距離などについて知ってもらい、交通事故に対する知識を学んでももらいました。	

事業名	バスへの愛着（マイバス意識）の向上
事業内容	関係団体との連携による公共交通の利用促進
実施主体	名鉄バス株式会社、豊明市

○「ちびっこ運転士体験」を実施

令和7年11月2日（日） 豊明秋まつり（カラット）

カラットで開催された豊明秋まつりで名鉄バス㈱の協力のもと、ひまわりバス車両を用いた「ちびっこ運転士体験」を実施しました。

紙製の運転士帽を被り運転席に座って写真撮影など、多くの方にひまわりバスと触れ合っていました。

ちびっこ運転士体験参加人数 750 人（保護者含む。）

（昨年参加人数 764 人（保護者含む。）※前年比 98.2%）

▼ 実施風景



事業名	公共交通の利用誘導
事業内容	商業施設との連携
実施主体	尾三地区自治体、愛知高速交通（株）、 尾三地区自治体コミュニティバス運行事業者などが主催

○バスフェスティバルの開催

令和8年1月25日（日） イオン三好ショッピングセンター

長久手市主導のもと、尾三地区自治体（みよし市、日進市、長久手市、東郷町、豊明市）の各コミュニティバス車両展示や、ワークショップ（ぬりえ・缶バッジ作成）、抽選会等、愛知高速交通（株）主催による制服試着体験を実施し、広域公共交通のPRを行いました。

バスフェスティバル開催日のイオン三好ショッピングセンター

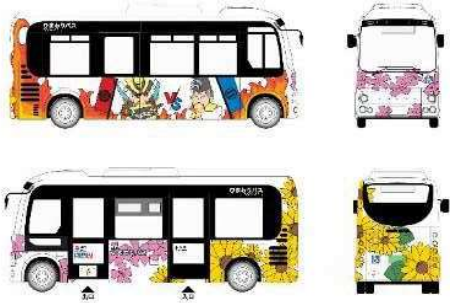
来場者数 1,500 人超 前年比 75%

▼バスフェスティバル 実施風景



事業名	① 地域主体組織との意見交換 ② 公共交通の利用誘導
事業内容	各地区との公共交通環境向上に向けた取り組み
実施主体	大脇地区、(株)アイシン、豊明市
○令和7年1月20日より実証運行していた大脇地区を、令和8年1月5日から正式にエリア指定した。 ・大脇地区の公共交通を考える会 令和6年9月16日（月・祝） 停留所候補地決めワークショップ ・大脇地区地域路線検討部会 令和6年10月21日（月） チョイソコ実証運行について ・大脇区 チョイソコ停留所を考える会 令和6年10月26日（土） 停留所位置の確認・調整・名称決め ・大脇区 チョイソコとよあけ導入説明会 令和6年12月21日（土） チョイソコの説明、会員登録の補助 ・大脇区 チョイソコ会員登録会 令和7年1月18日（土） チョイソコ会員登録の補助 ▼大脇区停留所写真	
	

事業名	① 地域主体組織との意見交換 ② 公共交通の利用誘導
事業内容	各地区との公共交通環境向上に向けた取り組み
実施主体	勅使台区地域交通改善実行委員会、名鉄バス（株）、豊明市
○勅使台区地域交通改善実行委員会や勅使台区公共交通説明会での意見交換を行いました。 ・勅使台区地域交通改善実行委員会 第1回 令和7年6月28日（土） 公共交通の利用状況やサイクル&ライド及びパーク&ライドについて意見交換を実施しました。 ▼パーク&ライド写真	
	

事業名	①公共交通の利用誘導 ②バスへの愛着（マイバス意識）の向上
事業内容	①教育機関との連携 ②市民による各種活動の促進
実施主体	市内小中学校・豊明市
○令和7年度購入のひまわりバス新車両（1台）のバスデザインを、市内在住の小中学生から募集しました。 ・デザイン募集 令和7年9月5日（金）〆切 695 作品 ・職員投票（課長級以下の職員全員） 令和7年10月1日（水）から10月8日（水）まで 24 デザイン案→8 デザイン案 ・幹部職員投票（市長、副市長、教育長及び部長級職員） 令和7年10月20日（月） 8 デザイン案→3 デザイン案 ・市民投票（豊明秋まつり来場者） 令和7年11月2日（日） 3 デザイン案→1 デザイン案 投票総数 660 票 ・入選作デザイン案展示会 （市役所本館1階アトリウム） 令和7年10月24日（金）から 11月14日（金）まで ・新デザインひまわりバス出発式・ 記念品贈呈式 令和8年3月27日（金）	
▼新デザインイメージ 	

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

資料2-1

豊明市地域公共交通計画の評価等結果（令和7年4月～令和8年3月）

目標	目標を達成するための取組み	調査方法	達成状況・分析					評価・次年度に向けた課題や取組み	備考
○公共交通全体の年間利用者数 1,474.4万人(R1)→1,521.6万人(R8)	需要に応じたサービスを提供継続し、公共交通ネットワークを確保・維持・改善	各交通事業者からのデータ提供	R4	R5	R6	R7	R8	引き続き公共交通計画に基づくサービス提供や利用促進を進めていく必要がある。また、民間企業や近隣自治体と連携し、公共交通の利用促進事業を実施する。 アフターコロナによる生活スタイルの変化から公共交通利用者を増やしていくためには、新規利用者獲得に向けて認知度や利便性の向上など、積極的な事業展開を行っていく必要がある。	
			1,247.5万人	1,290.6万人	1,298.4万人	1,311.4万人			
			○未達成 公共交通全体では、コロナ禍から回復傾向がみられる。 ひまわりバスはコロナ前よりも増加しており、利用促進の取り組み効果が出ている。チョイソコとよあけは、昨年は利用者が減少したが、一昨年度程度に回復した。 ・鉄道:1,188.2万人(千人未満は切り捨て。以下同じ。) ・名鉄バス:104.4万人 ・ひまわりバス:17.9万人 ・チョイソコとよあけ:0.9万人						
○まちづくり指標の達成度(第5次豊明市総合計画) 「交通アクセスが良くなったと思う市民の割合」 63.8%(R3)→74.5%(R8)	需要に応じたサービスを提供継続し、公共交通ネットワークを確保・維持・改善	第5次豊明市総合計画における市民アンケート結果	R4	R5	R6	R7	R8	引き続き近隣市町との連携を図るため、地域公共交通会議や尾三地区広域公共交通推進協議会等で意見交換を行う。 また、関係者が連携して、乗継利便性や待合環境の改善を検討する。 先端技術の活用や外出促進の取り組みによる公共交通に対する認知度を上げるための働きかけなど、積極的なPRを進める。	
			62.4%	62.8%	63.8%	65.5%			
			○未達成 ・男性が66.7%、女性が66.9%であった。 ・年齢で見ると、20歳～50歳未満は高い傾向にあるが、20歳未満及び50歳以上は不満割合が比較的高くなっている。 各利用者は増加し、昨年度より改善され、市民の主観的な満足度は年々上昇し、現況値を上回っている。						
○まちづくり指標の達成度(第5次豊明市総合計画) 「市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合」 65.1%(R3)→74.3%(R8)	公共交通に関するわかりやすい情報提供 公共交通の利用誘導 バスへの愛着(マイバス意識)の向上 ・80歳以上タクシー初乗り助成 ・待合ベンチ設置	第5次豊明市総合計画における市民アンケート結果	R4	R5	R6	R7	R8	豊明市地域公共交通計画を基に、公共交通分野だけでなくまちづくり分野とも連携した、コンパクトプラスネットワークのまちづくりを推進する。 また、市内移動に対する満足度の地域差を解消するため、交通空白地の解消や公共交通の役割・重要度に応じてニーズに合わせた対応を検討し、公共交通全体の満足度向上を図る。	
			62.0%	63.6%	61.5%	65.0%			
			○未達成 ・男性が65.4%、女性が66.0%であった。 ・年齢で見ると、20歳～50歳未満は高い傾向にあるが、20歳未満及び50歳以上は不満割合が比較的高くなっている。 各利用者は増加し、昨年度より改善され、市民の主観的な満足度は現況値と同程度になった。						
○チョイソコの外出促進イベントの年間参加人数(延べ人数) 97人/年(R2)→233人/年(R8)	公共交通に関するわかりやすい情報提供 公共交通の利用誘導 バスへの愛着(マイバス意識)の向上	株式会社アイシンからの参加実績データ提供	R4	R5	R6	R7	R8	計画最終年度で設定している目標値にも到達しており、高く評価できる。 一方で、参加していただける会員が固定化してきているという課題もあるため、これまでとは違ったターゲット層に向けたイベント企画を行っていきたい。	
			600人以上	618人以上	629人以上	586人以上			
			○達成 ・イベントの年間参加人数:586人以上(うち、チョイソコまつりに300人以上) ・スポンサー等と連携した外出イベントは月1回以上開催されている。毎回会員向け情報誌「チョイソコ通信」にイベント情報を掲載しており、会員にうまく周知ができていることが利用者の増加につながっていると考える。						
○多様な主体が連携・協働した取組みの件数 14件(R2実施件数)→75件(R4～R8累計)	地域路線導入に向けた取組み 地域の輸送資源の総動員 ・大協地区ワークショップ	取組実績	R4	R5	R6	R7	R8	平均値である15件/年以上の取組みを実施することができた。 今後も交通計画に基づく利用促進や、新規取組みについても検討を行い、随時実施していく。	
			19件	22件	34件	28件			
			○達成 ・大協地区ワークショップ、沓掛小学校スクールバス、豊明高校イラストレーション部連携企画、不審者情報・行方不明者情報タクシー連携、バスフェスティバル、バス乗り方教室 等						

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月～○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

豊明市地域公共交通計画（令和7年度分）の個別評価について

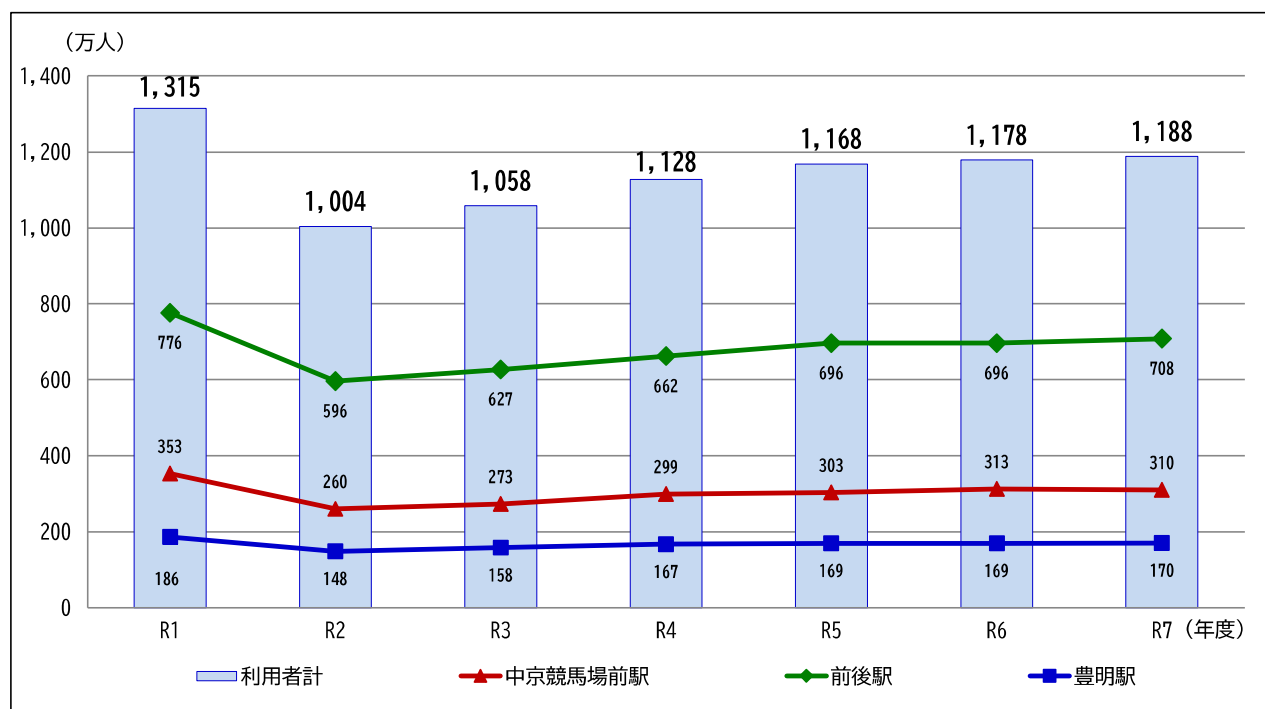
豊明市地域公共交通計画（以下「計画」という。）では、各交通事業の評価・検証については、各事業主体が主体となって計画期間の毎年度実施することとなっています。豊明市地域公共交通活性化協議会では、評価・検証を行うことにはなっていませんが、毎年度進捗を管理し、必要に応じて改善策を検討することとしています。

各交通事業ごとの令和7年度利用実績については以下のとおりです。

● 名鉄名古屋本線市内3駅の利用者数

単位：人

路線名	R4			R5			R6			R7		
	総数	乗車	降車	総数	乗車	降車	総数	乗車	降車	総数	乗車	降車
中京競馬場前駅	2,994,000	1,501,320	1,492,680	3,032,000	1,520,018	1,511,982	3,125,152	1,566,586	1,558,566	3,098,931	1,552,542	1,546,389
前後駅	6,618,283	3,311,573	3,306,710	6,962,379	3,488,772	3,473,607	6,959,531	3,486,177	3,473,354	7,081,128	3,548,620	3,532,508
豊明駅	1,670,075	834,559	835,516	1,687,845	843,385	844,460	1,690,779	845,378	845,401	1,702,552	852,177	850,375
計	11,282,358	5,647,452	5,634,906	11,682,224	5,852,175	5,830,049	11,775,462	5,898,141	5,877,321	11,882,611	5,953,339	5,929,272
1日あたり（人）	30,910.6			32,006.1			32,261.5			32,555.1		
対前年度同月比（％）	6.6%			3.5%			0.8%			0.9%		



● 名鉄バス市内運行路線の利用者数

(R 7)

単位：人

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
吉池団地線	10,355	10,207	10,720	11,129	10,234	10,291	10,861	9,409	10,106	9,661	9,137	11,107	123,217
豊明団地線	73,949	70,360	74,015	77,262	76,079	73,080	74,929	66,543	70,826	65,589	65,410	70,939	858,981
祐福寺線	5,621	5,497	5,796	6,010	4,321	5,223	5,752	5,036	5,219	4,778	4,373	5,048	62,674
計	89,925	86,064	90,531	94,401	90,634	88,594	91,542	80,988	86,151	80,028	78,920	87,094	1,044,872
1日あたり(人)	2,998	2,776	3,018	3,045	2,924	2,953	2,953	2,700	2,779	2,582	2,819	2,809	2,863
対前年度同月比(%)	1.5%	-1.0%	5.9%	2.5%	3.3%	-0.1%	2.1%	-3.1%	1.5%	0.5%	0.7%	4.2%	1.5%

(R 6)

単位：人

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
吉池団地線	10,133	9,959	9,789	10,712	9,521	9,875	10,703	10,153	10,943	9,309	8,745	9,825	119,667
豊明団地線	72,982	71,352	70,293	75,789	73,420	73,728	73,420	68,139	68,705	65,397	65,158	68,727	847,110
祐福寺線	5,497	5,662	5,395	5,562	4,795	5,098	5,543	5,286	5,193	4,925	4,442	5,009	62,407
計	88,612	86,973	85,477	92,063	87,736	88,701	89,666	83,578	84,841	79,631	78,345	83,561	1,029,184
1日あたり(人)	2,954	2,806	2,849	2,970	2,830	2,957	2,892	2,786	2,737	2,569	2,798	2,696	2,820
対前年度同月比(%)	-1.7%	-2.5%	-9.1%	-0.8%	-6.1%	-6.3%	1.0%	-1.1%	0.7%	0.8%	-3.9%	0.8%	-2.5%

(R 5)

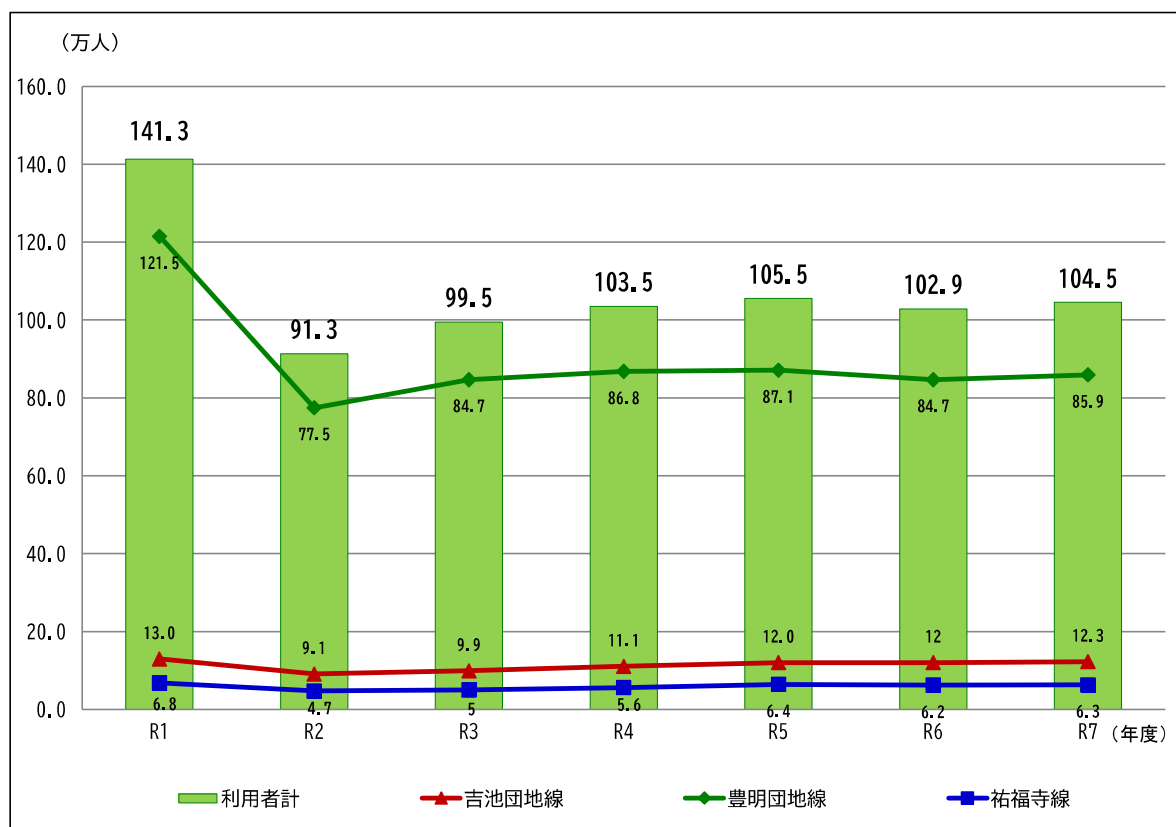
単位：人

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
吉池団地線	10,444	10,203	10,750	10,988	9,750	10,078	10,357	9,731	10,121	9,157	9,312	9,864	120,755
豊明団地線	74,166	73,413	77,522	76,093	78,765	79,200	72,837	69,328	68,860	64,826	67,505	68,020	870,535
祐福寺線	5,561	5,628	5,768	5,719	4,929	5,437	5,582	5,467	5,298	4,978	4,740	5,036	64,143
計	90,171	89,244	94,040	92,800	93,444	94,715	88,776	84,526	84,279	78,961	81,557	82,920	1,055,433
1日あたり(人)	3,006	2,879	3,135	2,994	3,014	3,157	2,864	2,818	2,719	2,547	2,913	2,675	2,892
対前年度同月比(%)	3.4%	4.6%	3.5%	4.6%	6.2%	6.3%	1.4%	-1.4%	-1.4%	0.7%	-0.7%	-4.5%	2.0%

(R 4)

単位：人

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
吉池団地線	9,325	8,936	9,587	9,535	8,683	9,020	9,603	9,452	9,718	8,715	8,607	9,897	111,078
豊明団地線	72,923	71,306	76,133	74,379	75,304	75,269	72,911	71,438	70,813	65,389	69,480	72,377	867,722
祐福寺線	4,954	5,063	5,106	4,790	3,991	4,844	5,040	4,866	4,927	4,306	4,006	4,527	56,420
計	87,202	85,305	90,826	88,704	87,978	89,133	87,554	85,756	85,458	78,410	82,093	86,801	1,035,220
1日あたり(人)	2,907	2,752	3,028	2,861	2,838	2,971	2,824	2,859	2,757	2,529	2,932	2,800	2,836



●ひまわりバスの利用者数

(R 7)

単位：人

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
中央（赤）	4,288	4,418	4,849	5,133	5,235	4,962	4,962	4,562	4,338	4,067	4,051	4,781	55,646
中央（青）	4,827	4,850	5,261	5,612	5,669	5,298	5,416	5,215	5,160	4,572	4,458	5,360	61,698
南部（緑）	2,672	2,685	2,779	3,029	2,889	2,927	3,022	2,744	2,528	2,355	2,315	2,581	32,526
南部（紫）	2,339	2,504	2,427	2,676	2,560	2,567	2,695	2,465	2,398	2,209	2,156	2,450	29,446
計	14,126	14,457	15,316	16,450	16,353	15,754	16,095	14,986	14,424	13,203	12,980	15,172	179,316
1日あたり（人）	471	466	511	531	528	525	519	500	465	426	464	489	491
対前年度同月比（％）	-1.1	4.2	10.2	6.0	13.2	4.2	2.1	2.6	5.8	6.7	-0.4	3.9	4.8

(R 6)

単位：人

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
中央（赤）	4,488	4,279	4,148	4,735	4,503	4,716	4,855	4,462	4,084	3,608	3,900	4,405	52,183
中央（青）	4,738	4,753	4,734	5,373	4,876	5,015	5,233	4,879	4,546	4,061	4,369	4,927	57,504
南部（緑）	2,684	2,549	2,642	2,767	2,593	2,706	2,929	2,754	2,632	2,460	2,446	2,780	31,942
南部（紫）	2,380	2,296	2,380	2,644	2,475	2,681	2,746	2,507	2,376	2,248	2,313	2,491	29,537
計	14,290	13,877	13,904	15,519	14,447	15,118	15,763	14,602	13,638	12,377	13,028	14,603	171,166
1日あたり（人）	476	448	463	501	466	504	508	487	440	399	465	471	469
対前年度同月比（％）	11.4	8.4	4.4	12.8	4.3	9.1	10.6	7.8	4.8	6.1	1.4	3.4	7.1

(R 5)

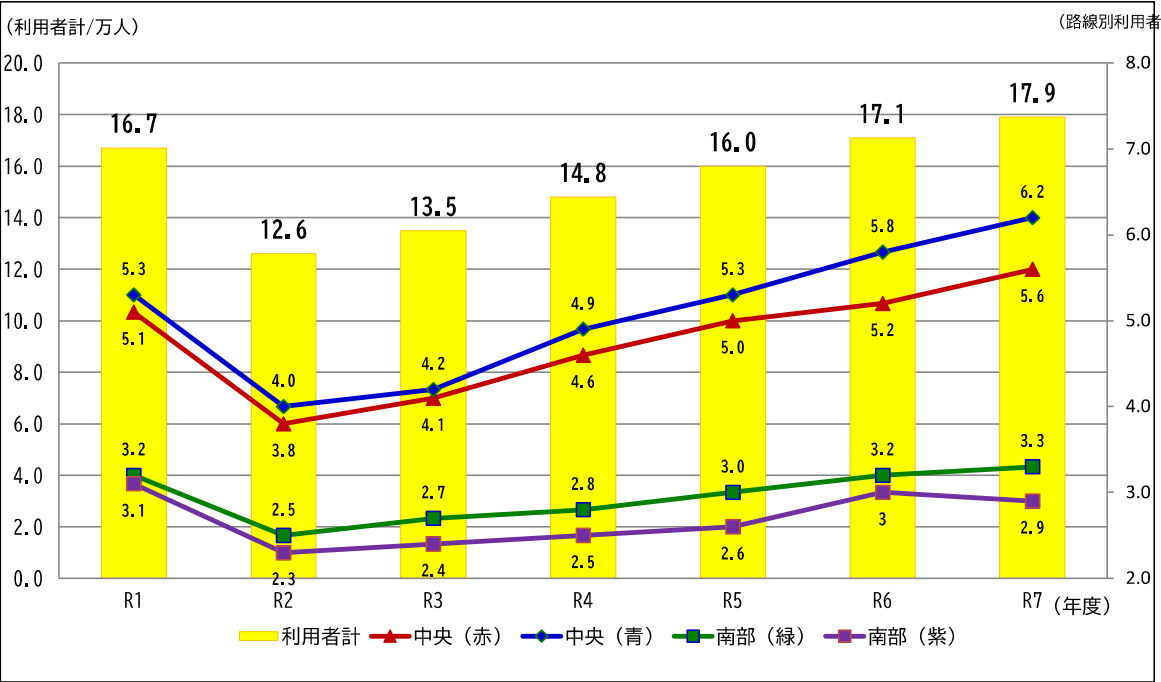
単位：人

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
中央（赤）	4,145	4,006	4,096	4,097	4,291	4,208	4,357	4,210	4,087	3,734	4,050	4,496	49,777
中央（青）	4,240	4,171	4,344	4,642	4,701	4,672	4,760	4,578	4,330	3,818	4,272	4,750	53,278
南部（緑）	2,397	2,516	2,614	2,730	2,583	2,584	2,767	2,555	2,405	2,174	2,449	2,564	30,338
南部（紫）	2,043	2,107	2,258	2,295	2,280	2,390	2,363	2,204	2,188	1,941	2,082	2,316	26,467
計	12,825	12,800	13,312	13,764	13,855	13,854	14,247	13,547	13,010	11,667	12,853	14,126	159,860
1日あたり（人）	428	413	444	444	447	462	460	452	420	376	443	456	438
対前年度同月比（％）	4.0	4.8	3.6	5.3	5.8	10.5	9.8	9.9	10.1	9.5	10.9	9.6	7.8

(R 4)

単位：人

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
中央（赤）	3,824	3,795	3,806	3,957	4,058	3,911	4,085	3,910	3,762	3,359	3,578	4,080	46,125
中央（青）	3,969	3,934	4,255	4,296	4,342	4,305	4,543	4,141	3,852	3,542	3,879	4,320	49,378
南部（緑）	2,418	2,356	2,544	2,549	2,515	2,324	2,309	2,288	2,333	1,986	2,220	2,371	28,213
南部（紫）	2,126	2,130	2,249	2,274	2,176	1,993	2,037	1,985	1,866	1,768	1,916	2,115	24,635
計	12,337	12,215	12,854	13,076	13,091	12,533	12,974	12,324	11,813	10,655	11,593	12,886	148,351
1日あたり（人）	411	394	428	422	422	418	419	411	381	344	414	416	406



●チョコイソコとよあけの会員数・利用件数

(R7)

単位：人・件

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
会員数	2,567	2,590	2,597	2,608	2,610	2,631	2,630	2,621	2,636	2,643	2,652	2,662	—
利用件数	761	736	828	894	683	849	968	783	958	795	835	893	9,983
会員増加数	14	23	7	11	2	21	-1	-9	15	7	9	10	
1日あたり(人)	38	39	41	41	40	45	46	39	48	42	46	43	42
対前年度同月比(%)	-14.2%	-4.7%	8.4%	17.6%	-1.9%	12.6%	-0.8%	-4.4%	25.4%	19.9%	29.3%	27.0%	8.5%

(R6)

単位：人・件

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
会員数	2,306	2,334	2,347	2,364	2,371	2,373	2,390	2,401	2,412	2,514	2,531	2,553	—
利用件数	887	772	764	760	696	754	976	819	764	663	646	703	9,204
会員増加数	13	28	13	17	7	2	17	11	11	102	17	22	
1日あたり(人)	44	41	38	35	41	40	46	41	38	35	36	33	39
対前年度同月比(%)	-4.2%	-7.9%	-14.9%	-14.0%	-22.1%	-12.0%	4.6%	-8.1%	-0.9%	-8.2%	-12.7%	-13.2%	-9.4%

(R5)

単位：人・件

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
会員数	2,134	2,143	2,159	2,164	2,176	2,203	2,223	2,241	2,254	2,265	2,286	2,293	—
利用件数	926	838	898	884	893	857	933	891	771	722	740	810	10,163
会員増加数	17	9	16	5	12	27	20	18	13	11	21	7	
1日あたり(人)	46	44	45	40	53	45	44	45	39	38	41	39	43
対前年度同月比(%)	19.6%	20.1%	-6.0%	-0.1%	13.2%	6.3%	5.5%	-2.6%	-16.0%	-4.5%	-4.8%	-7.5%	1.3%

(R4) ※R4, 4以降の会員数は転出・死亡等の情報を反映しています。

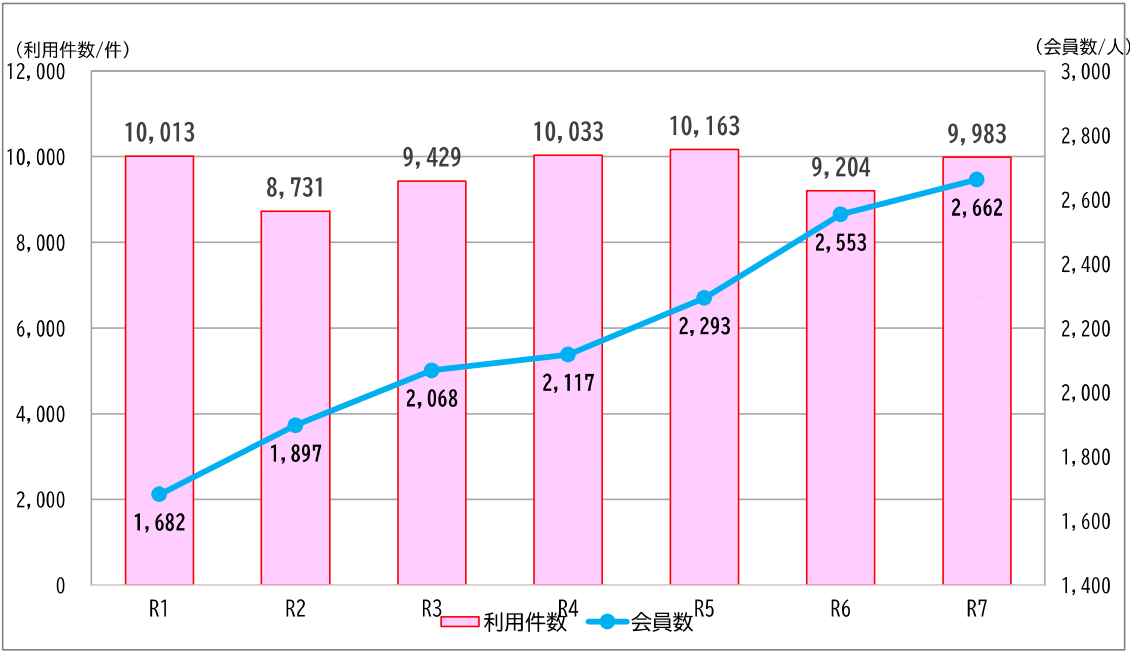
単位：人・件

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
会員数	2,008	2,023	2,036	2,042	2,051	2,058	2,070	2,078	2,095	2,100	2,105	2,117	—
利用件数	774	698	955	885	789	806	884	915	918	756	777	876	10,033
会員増加数	-60	15	13	6	9	7	12	8	17	5	5	12	
1日あたり(人)	39	37	43	44	36	40	44	46	46	40	41	40	41
対前年度同月比(%)	-7.4%	-2.4%	4.6%	9.1%	11.8%	6.6%	5.7%	9.4%	10.5%	7.7%	16.3%	7.0%	6.4%

(R3)

単位：人・件

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
会員数	1,928	1,938	1,951	1,956	1,969	1,986	1,994	2,012	2,031	2,045	2,055	2,068	—
利用件数	836	715	913	811	706	756	836	836	831	702	668	819	9,429
会員増加数	#REF!	10	13	5	13	17	8	18	19	14	10	13	
1日あたり(人)	40	40	42	41	34	38	40	42	42	37	37	37	39



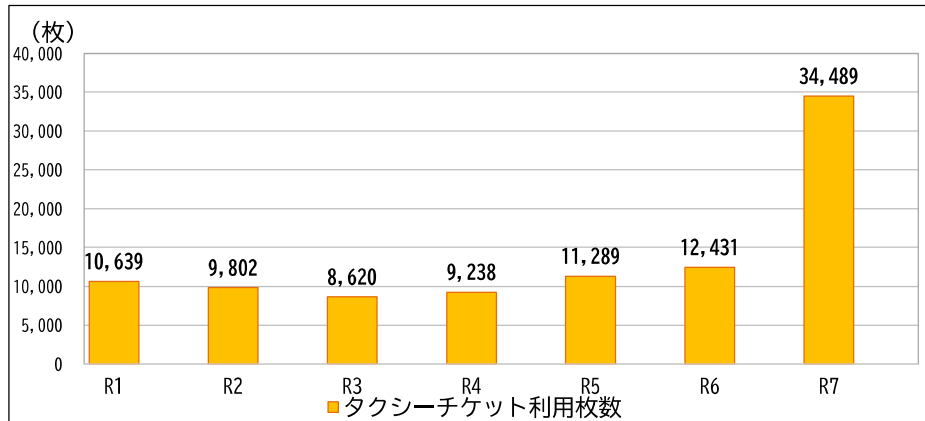
●タクシーチケット利用枚数（高齢者外出支援事業・障害者福祉タクシー料金助成事業）

単位：枚

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
タクシーチケット利用枚数	10,639	9,802	8,620	9,238	11,289	12,431	34,489	

※高齢者外出支援事業（長寿課）及び障害者福祉タクシー料金助成事業（地域福祉課）におけるタクシーチケットの利用枚数実績

令和7年4月から、高齢者外出支援事業（65歳以上・要介護要支援・非課税）と高齢者タクシー運賃助成事業（80歳以上）が一本化された。

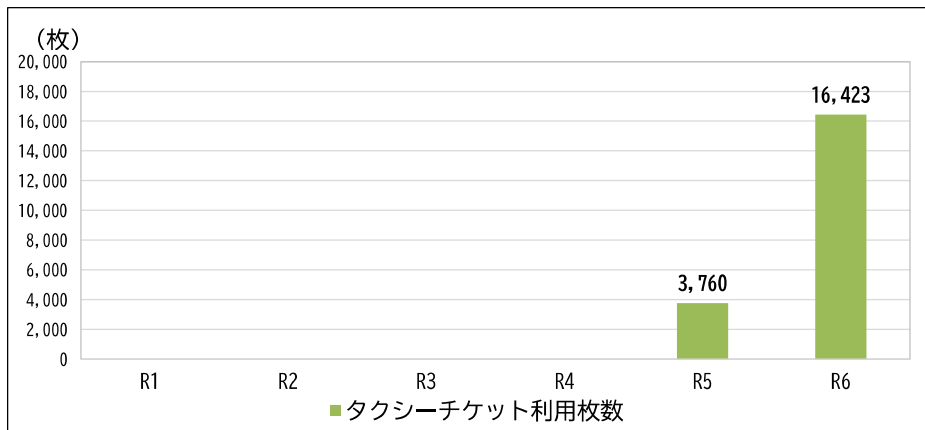


●タクシーチケット利用枚数（高齢者タクシー運賃助成事業）

単位：枚

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
タクシーチケット利用枚数	—	—	—	—	3,760	16,423	—	—

※高齢者タクシー運賃助成事業（長寿課。80歳以上が対象）におけるタクシーチケットの利用枚数実績



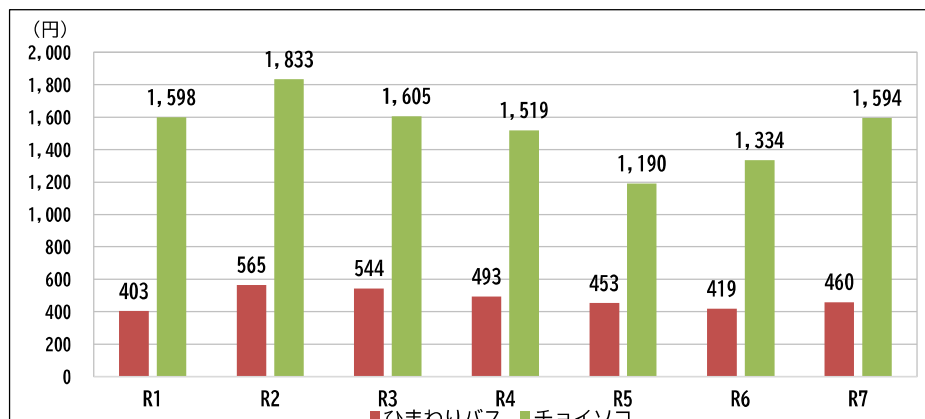
●利用1件当たりの負担金

単位：円

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
ひまわりバス	403	565	544	493	453	419	460	
チョイソコ	1,598	1,833	1,605	1,519	1,190	1,334	1,594	

※運行負担金／利用件数 で算出

※令和3年度のチョイソコについては、GCF（ガバメントクラウドファンディング）で集まった寄付額を運行負担金から差し引いて算出



東郷・藤田医大バス廃止について

1 運行経緯

大規模病院までの交通手段を確保し、外来通院等の利便性の向上を図ることを目的に令和3年4月から運行している。導入当初から利用者が少なく（R7実績：5,952人/年）、需要が限定的である。

2 運行概要

項 目	内 容
運行主体	東郷町
運行事業者	名鉄バス
運行経路	ららぽーと愛知東郷～藤田医科大学病院（直通）
運行距離	7.3 km（往路）、7.2 km（復路）
運行日	平日（祝日、年末年始を除く。）
運行回数	12 便/日（往路復路各 6 便）
運行期間	令和3年4月～令和9年3月

3 実績（令和7年度）

利用者数 5,952 人（242 日、2,904 運行）

1 日平均 24.6 人

1 便平均 2.0 人

運行負担金 11,963,985 円

4 廃止理由

一定の利用ニーズは存在するものの定時定路線のバスを運行するために十分な規模になく、限られた資源配分として妥当性を欠く状態となっているため。また、需要が大きい町内移動の確保・維持・拡充のため資源を再配分する必要があるため。

5 廃止日

令和9年3月31日

6 経過

R3.4 運行開始

R6.4 ダイヤ変更（巡回バス乗継ぎ実施）

R7.8 名鉄バス株式会社協議

R7.9 豊明市、藤田医科大学病院協議

R8.2 東郷町地域公共交通会議上程

R8.3 ららぽーと愛知東郷協議

R8.4 豊明市協議

R8.5 藤田医科大学病院協議

R8.6 東郷町地域公共交通会議上程

参考資料：令和7年度第4回東郷町地域公共交通会議資料

【図】東郷・藤田医大バス路線経路



本町公共交通施策の今後の方針（東郷・藤田医大バス）

1 東郷・藤田医大バス概要

(1) 運行概要

目的：大規模病院までの交通手段を確保し、外来
通院等の利便性の向上を図る。

経路：ららばーと愛知東郷～藤田医科大学病院
(直通)

運行日：平日（祝日、年末年始を除く。）

便数：12 便/日（往路復路各 6 便）

車両：中型バス

運賃：300 円/人（中学生以下・65 歳以上・障が
い者は 150 円、未就学児無料）

運行開始日：R3.4.1

利用人数：5,036 人/年（R6 実績）

負担金額：12,027,555 円/年（R6 実績）

(2) 導入経緯

- ・本町に多くの病床数を有する総合病院がない
ことから、町民アンケート（H30 実施）で最
も町民の利用頻度が多い藤田医科大学病院
への乗り入れを検討
- ・R3.4.1 運行開始

2 見直し事項

持続可能な公共交通の実現のため、運行事業者との協定期間が終了する **R9.3 末をもって、東郷・藤田
医大バスを廃止する。**

(1) 理由

ア 需要が乏しい

- ・一定のニーズはあるものの、定時定路線のバスを運行するための十分な規模には達していない。
- ・特定の 1 施設への移動に特化したバスであり、目的が限定的であるため年間利用人数は 5,036 人（R6
年度実績）である。同じコミュニティバスである「じゅんかい君」は、日常生活の足として多くの需
要がある。

- ・計画段階では、当初想定していた乗車定員 13 人程度のワンボックス車では乗りこぼしの発生を懸念
する声（R1.10 公共交通会議）があったが、実績は利用人数が最も多い往路第 1 便でも平均 3.9 人/台
（最大 9 人/台）と低調である。

イ 費用対効果が低い

- ・定時定路線のバスは、大量輸送を目的とした交通モードであるため、現状の移動需要に対しては過剰
なサービスとなっている。R6 年度の 1 便あたりの平均乗車人数は 1.7 人である。

- ・1 人を輸送するのに必要なコストは以下のとおりであり、じゅんかい君の最も効率的な悪い路線と比較
しても効率は 1/4 以下である。

【図 10】 じゅんかい君との比較

参考 (R7 第 4 回東郷町地域公共交通会議資料(一部修正))				
R6 年度実績	東郷・藤田医大 バス	じゅんかい君 (北コース)	じゅんかい君 (南西コース)	じゅんかい君 (東コース)
台数	1	2	1	1
乗車人数	5,036	145,285	33,794	36,953
町内負担額※	12,027,555	37,134,288	18,567,144	18,567,144
1 人あたり輸送コスト (町内負担額/乗車人数)	2,388	256	549	502
1 便あたり乗車人数	1.7	17.8	12.3	12.3

※じゅんかい君は車両数で按分

(2) 対応

限りある資源で町全体の利益を最大化するため、東郷藤田医大バス廃止により生じる経費縮減分を本町の
の交通施策の中核を担う「じゅんかい君」の運行に充当し、**町内移動手段の確保・維持又は拡充を図る。**
なお、東郷藤田医大バス廃止に伴う代替輸送は設けない。

【図 9】 もっともよく行く施設
(H30 町民アンケート)



(名鉄バス(株))

藤田医科大学病院へは、名鉄バス路線により前後駅から 32,33,34,35 系統の計 56 便が接続し、徳重駅からは
34,35 系統の計 16 便が、赤池駅からは 35 系統の 8 便が接続しており、移動手段は確保されている。なお、本
町巡回バス沿線の名鉄バス 35 系統の停留所は名鉄白土、東白土、音貝小学校前、半ノ木公園がある。

3 スケジュール（予定）

- R7.7～ 運行事業者（名鉄バス(株)、藤田医科大学病院、豊明市へ運行終了について協議
- R8.2 公共交通会議へ上程
- R8.9 運輸局への路線廃止手続き
- R9.3.31 運行終了

6 豊明市の公共交通のめざす姿と基本方針

(1) 豊明市の公共交通のめざす姿

第6次豊明市総合計画では、「未来へつなぐ みんなでつくる しあわせのまち とよあけ」をまちの未来像として掲げ、公共交通に関連する分野別（住環境）のめざすまちの姿を「気軽に外出でき、生活しやすいきれいなまち」と設定しています。

公共交通の運行は、人々の暮らしの中での移動手段を提供することだけに留まらず、外出機会を創出し、人やまちをつなぎ、交流を生むことで、まち全体の活力を維持・活性化させる役割を持っています。

また、全国的に公共交通の担い手（運転手等）不足が取りざたされる中でも、官民一体となった公共交通運行の維持・活性化に取り組み、適切な公共交通を運行することで、自家用車に過度に依存しないライフスタイルで生活できるという“安心感”を提供でき、高齢者のみならず、子育て世代や学生などを含めた、全ての世代が住み続けたいと思える住環境の実現を支援することにつながります。

豊明市が目指すまちの未来像を実現するため、鉄道・路線バス・ひまわりバス・チョイソコ及びタクシーをはじめ、調査・研究が進む新しい移動手段（新しいモビリティ、マイクロモビリティ等）を含めた豊明市の全ての公共交通が相互に連携し、市民の市内外の日常的な生活行動や、地域の移動ニーズに応じた公共交通ネットワークを形成することが、前計画から引き続きとなる公共交通の役割であると考え、「**いつでも 誰でも 安心して 出かけられるまち**」を豊明市の公共交通のめざす姿とします。

豊明市の公共交通を未来へつなぐため、市民（地域）・交通事業者・関係団体（町内会・市民団体等）及び行政といった多様な主体がそれぞれの立場を尊重しつつ、相互に連携し、一緒になって公共交通を支える取り組みを実施することで、市民生活の質の充実とまち全体の活力の維持・活性化に必要な公共交通を育むものとします。

（参考）第6次豊明市総合計画 めざすまちの姿7「気軽に外出でき、生活しやすいきれいなまち」における、市民・地域・団体・事業所等の役割

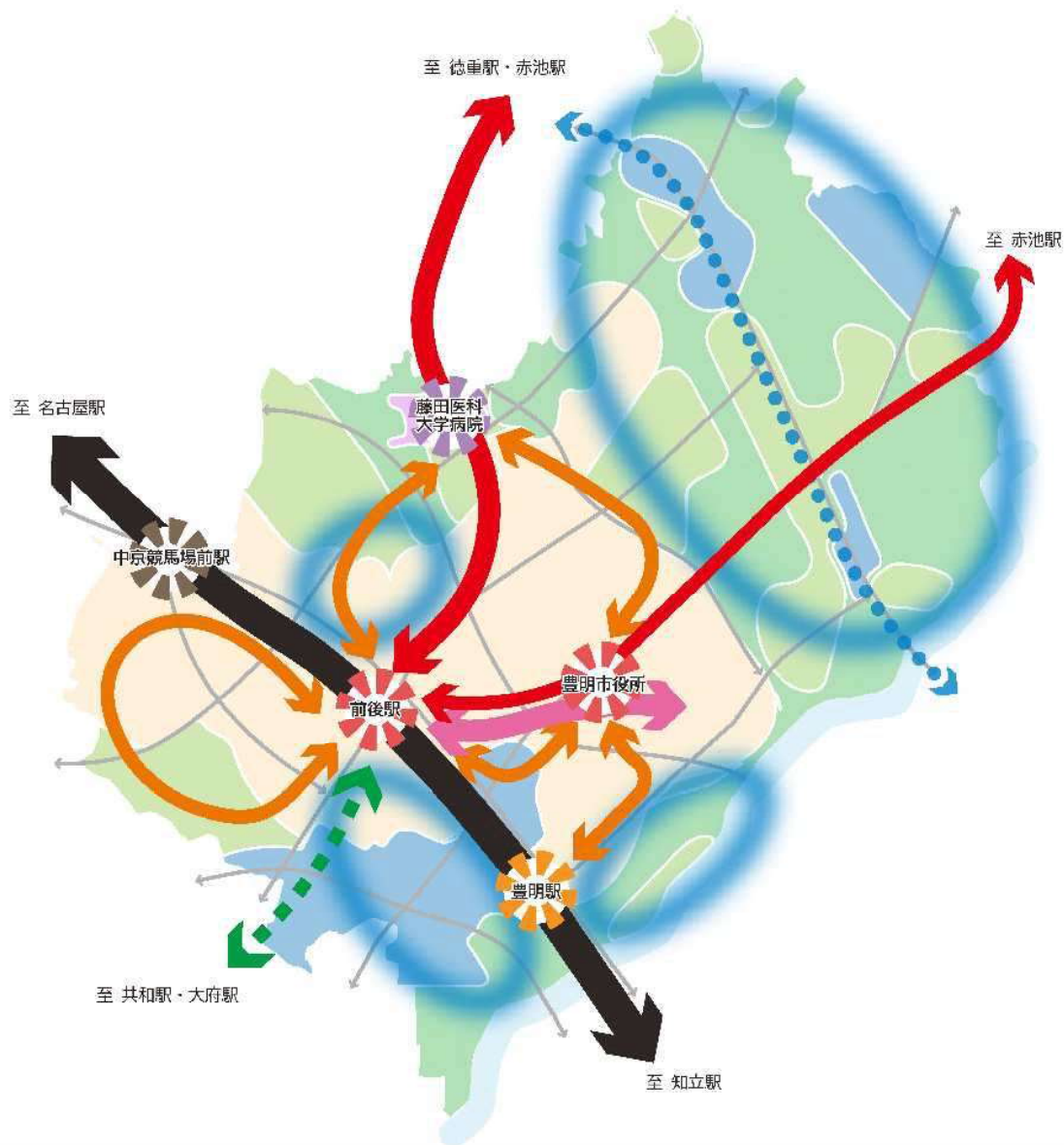
- ◎一人ひとりがごみの分別や環境に配慮した行動に努めることができます。事業所や団体などは、市民に対して環境について学ぶ機会や場をつくり環境意識を向上することができます。
- ◎市民は、自家用車だけでなく、身近な公共交通機関の利用に努めることができます。また、市や交通事業者と連携して、地域の特性に合った公共交通を育むことができます。

(2) 公共交通の機能分類

豊明市の公共交通ネットワークを構成している鉄道・バス・タクシー等について機能分類を整理し、それぞれの役割を明確にします。

また、計画期間満了時における、豊明市の公共交通のめざす姿を展開し、公共交通の機能分類と対応した公共交通ネットワークイメージを設定します。

▼ 豊明市の公共交通ネットワークイメージ



凡 例					
	都市間幹線		くらしと交通の中心拠点		居住ゾーン
	市内幹線		くらしと交通の地域拠点		田園居住ゾーン
	拠点連絡路線		歴史と文化の交流拠点		産業ゾーン
	地域交通		健康医療福祉拠点		防災・医療ゾーン
	連携路線				農地・緑地ゾーン

▼ 豊明市内の公共交通の機能分類

機能分類	機能	役割	該当路線
都市間 幹線	本市と名古屋市・豊橋市方面との鉄道での都市間移動	通勤、通学、買物、観光等の広域的な移動ニーズに対応	名古屋鉄道 (名古屋本線)
	本市と名古屋市・尾三地区(東郷町・日進市)等とのバスでの市域を超えた移動	通勤、通学、買物、通院等の広域的な移動ニーズに対応	名鉄バス (豊明団地線、祐福寺線) 名古屋市営バス (藤田医科大学発着系統)
市内 幹線	市内の都市拠点をはじめとした市内拠点間の移動	通勤、通学、買物、通院等の市内移動ニーズに対応	名鉄バス (吉池団地線)
拠点 連絡 路線	市内の各拠点及び主要施設間の移動	買物、通院をはじめとした、様々な地区間移動ニーズに対応	ひまわりバス (全コース)
連携 路線	本市と大府市を結ぶ市域を超えた移動	周辺市との移動ニーズに対応	大府市 ふれあいバス (東コース、北コース)
地域 交通	地域と各拠点や主要施設を結び、市内幹線や拠点連絡路線と接続	高齢者の買物、通院等の移動ニーズや、各地域におけるラストワンマイルのニーズ等、地区内の様々な移動ニーズに対応	チョイソコとよあけ (新たなモビリティ)
個別 輸送	上記公共交通では時間的・空間的にカバーできない移動	個別の移動ニーズに対応	タクシー 福祉タクシー パーソナルモビリティ

(3) 基本方針

豊明市の公共交通がめざす姿に向け、地域公共交通の課題を解消・解決するための基本方針を設定します。

【豊明市の公共交通のめざす姿】

いつでも 誰でも 安心して 出かけられるまち

【豊明市の地域公共交通の課題】

集約課題①

広域的な移動に対応した
公共交通の確保・維持

集約課題②

市内生活での移動需要の
高まりへの対応

集約課題③

まちづくりとリンクした
公共交通体系の構築

集約課題④

DXの活用や外出促進の取り組みによる
利用機会増進策の展開

集約課題⑤

市民や各種事業者などが協力した
公共交通関連事業の拡大



【豊明市の地域公共交通の基本方針】

基本方針 Ⅰ

「とよあけ公共交通
ネットワーク」の確保・維持

基本方針 Ⅱ

市内移動ニーズに応じた
公共交通のアップデート

基本方針 Ⅲ

みんなでつくる公共交通の
利用機会

7 取り組みの方向性・評価指標・実施施策

(1) 基本方針Ⅰについて

基本方針

Ⅰ

「とよあけ公共交通ネットワーク」の確保・維持

鉄道・路線バス・ひまわりバス・チョイソコ・タクシー等の多様な公共交通が相互に連携し、鉄道駅や市役所などの都市拠点を中心とした市内の公共交通体系と、都市間幹線を中心とした広域的な公共交通が一体的に機能する「とよあけ公共交通ネットワーク」を確保・維持します。

① 関連する地域公共交通の課題

集約課題①

広域的な移動に対応した公共交通の確保・維持

集約課題③

まちづくりとリンクした公共交通体系の構築

② 評価指標（案）

- 都市拠点の鉄道駅・バス停の運行本数（時刻表データ）
- 都市間幹線の利用者数（事業者データ）等
- 公共交通機関での市外移動がしやすいと思う市民の割合（総合計画市民アンケート調査）

③ 目標を達成するために実施する施策例（案）

- 地域公共交通の運行の確保・維持・改善
 - 利用の実態やニーズ、まちづくりの方針等から、豊明市内の公共交通機関について、役割やサービス確保の考え方を再整理する。
 - 幹線道路の整備に合わせ、市民・利用者の移動ニーズが高い周辺自治体への乗入れを検討する。
- 市内外のあらゆる移動手段がシームレスにつながる交通結節点の形成
 - 前後駅を市内外の多様な移動手段がシームレスにつながる「モビリティハブ」として位置付け、鉄道・バス・チョイソコ・タクシー・自転車・パーソナルモビリティ・徒歩などを円滑に接続する交通結節点の形成を目指し、利便性と快適性の高い交通ネットワークを構築する。

(2) 基本方針Ⅱについて

基本方針 Ⅱ

市内移動ニーズに応じた公共交通のアップデート

市内移動に関する満足度の地域差を解消する取り組みを進めます。

また、地域公共交通の利用が難しく、移動が困難である人に対して、交通事業者や地域とともに、地域や移動の特性に応じた交通施策を展開し、市内移動に対応した公共交通のアップデートを進めます。

① 関連する地域公共交通の課題

集約課題①

広域的な移動に対応した公共交通の確保・維持

集約課題②

市内生活での移動需要の高まりへの対応

集約課題③

まちづくりとリンクした公共交通体系の構築

② 評価指標（案）

- 市内幹線、拠点連絡路線、地域交通の利用者数（事業者データ）
- 公共交通機関での市内移動がしやすいと思う市民の割合（総合計画市民アンケート調査）

③ 目標を達成するために実施する施策例（案）

- 市内バス路線の調和を図った見直し
→名鉄バスとひまわりバスの路線について、ルート・ダイヤの重複などを解消し、公共交通ネットワーク全体としての調和を図る見直しを行うことで、利用者利便の向上につなげる。
→市内で運行するバス路線同士の乗継環境を改善し、公共交通ネットワーク全体での機能を向上させる。
- チョイソコとよあけのアップデート
→利用状況が堅調に推移しているチョイソコとよあけについて、運行車両の増備や運行時間の拡大等のサービスの強化を行い、高まる市内移動のニーズに対応する。
- 交通空白を解消する移動手段の検討
→公共交通を利用したい希望はあるものの利用できていない人（移動に困っている人）に焦点を当てた移動手段を検討し、市内の交通空白解消につなげる。

(3) 基本方針Ⅲについて

基本方針 Ⅲ

みんなでつくる公共交通の利用機会

公共交通の周知や理解を深め、公共交通を利用した外出機会を創出するため、わかりやすい情報提供や多様な分野、主体と連携・協力した外出の目的とセットになった利用促進策の展開など、豊明市の公共交通に関係する様々な関係者が一丸となって、公共交通を利用するキッカケを創出します。

① 関連する地域公共交通の課題

集約課題②

市内生活での移動需要の高まりへの対応

集約課題④

D Xの活用や外出促進の取り組みによる、利用機会増進策の展開

集約課題⑤

市民や各種事業者などが協力した公共交通関連事業の拡大

② 評価指標（案）

- 「自宅近くを走るバスで行くことのできる施設」の認知度（市民アンケート調査）
- チョイソコの外出促進イベントの年間参加人数（延べ人数）（事業者データ）等

③ 目標を達成するために実施する施策例（案）

- 個々のステージに合わせた公共交通の利用機会の創出
→自動車の運転免許を持たない高校生以下の人や、運転免許の自主返納を考えている人、子育てに伴い自動車の利用頻度が増加する人など、様々な世代の人それぞれに対して、公共交通を利用する機会を持てるように取り組みを進める。
- わかりやすい公共交通情報の発信と愛着の醸成
→バスの乗り方や行き先の情報について、バス停だけでなく広報や市公式LINE等でも発信することで、公共交通未利用者の利用障壁を軽減する。また、子どもの頃から公共交通に触れる機会を作ることで愛着の醸成を図る。
- 公共交通を利用したお出かけのきっかけとなる情報の提供
→お出かけ先（商業施設や観光スポット、地域の見どころ等）の情報と一体となった、公共交通を利用したモデルコースについて、エリア版Ma a Sアプリ等を通じて発信するなど、楽しく公共交通を利用できる取り組みを展開する。
- 様々な主体が連携した公共交通の利用を促進するイベント等の実施
→豊明市内で行われる各種イベントや、尾三地区・周辺自治体が連携して実施する公共交通に関する会議・イベント等について積極的・継続的に参加しPRを行う。
- 身近な交通を地域でつくり・守り・育む取り組みの推進
→地域の移動に関する問題に対して地域内で議論を深め、地域住民や企業等と一緒に公共交通をつくり・守り・育むための仕組みを考え、実行に移していく取り組みを推進する。

● 地域の輸送資源の総動員

→地域における移動手段は、自家用自動車とバスやタクシー等の公共交通がそれぞれの特性に応じてバランスよく担うべきものですが、輸送サービスを必要とする高齢者や障がい者、地域の状況等に応じて、公共交通、公共交通を補完する輸送、地域の助け合い等が連携してサービスを提供する必要があります。福祉等の他分野の取り組みと、公共交通分野の取り組みについて、それぞれの役割や機能を明確にしたうえで、公共交通と福祉の連携を図る。

現在、豊明市で実施している移動に関する取り組みを以下に整理する。

勅使台区地域公共交通改善実行委員会の取り組み	
実施主体	勅使台区地域公共交通改善実行委員会
目的	勅使台区の公共交通環境の向上
内容	・徳重駅への乗り合いタクシーの実証実験実施 ・名鉄バスとの情報共有、ダイヤ改正案の意見交換

高齢者タクシー運賃助成事業	
実施主体	豊明市 長寿課
目的	高齢者の外出促進・閉じこもり予防と自立の助長
対象者	豊明市に住民登録がある方で①または②のどちらかに該当する方 ①事業年度末までに満 80 歳以上になる人 ②以下のすべてを満たす人 ・満 65 歳以上 ・要介護又は要支援の認定がある ・市民税非課税世帯
内容	普通タクシーの基本料金分（上限 500 円）の利用券を交付（年間最大 48 枚） 1 回の乗車で 1 枚利用可能

高齢者運転免許証自主返納支援事業	
実施主体	豊明市 長寿課
目的	高齢者による交通事故の減少、外出の促進、自立の助長
対象者	・豊明市在住で満 65 歳以上の人 ・有効期限内の運転免許証を自主返納した人
内容	①または②を選択（1 人 1 回のみ交付） ①ひまわりバス定期券引換券を交付（1 人 12 枚分） ②乗り合い送迎サービス「チョイソコとよあけ」利用券を交付（1 人 30 枚分）

障害者福祉タクシー料金助成事業	
実施主体	豊明市 地域福祉課
目的	障がい者が外出する際に、電車、バス等通常の交通機関を利用することが困難なため、タクシーを利用する場合、料金の一部を助成することにより、その世帯の経済的負担の軽減を図る
対象者	豊明市在住の障がい者（1～2 級の身体障害者児及び 3 級の下肢・体幹能障害者、療育手帳 A・B 判定の知的障害者、1. 2 級の精神障害者保健福祉手帳所持者） ※自動車税等の減免を受けていない方に限る
内容	障害者福祉タクシー料金助成利用券を交付 （基本料金相当額を年間最高 48 回分）

豊明市移送サービス費支給制度	
実施主体	豊明市 長寿課
目的	要介護者の移動支援
対象者	豊明市移送サービス費利用券を持っている方 ※下記すべてに該当する在宅生活者 ・ 豊明市の介護保険被保険者で要介護認定のある人 ・ 寝たきりの状態または常時車椅子を利用しており、移動に特殊車両が必要な人
内容	年 48,000 円分の利用券交付 1 回の乗車の利用枚数制限なし ※ただし、運賃以外の介助等には使用不可 ＜対象車両＞ ・ リフト付き車両 ・ ストレッチャー装着ワゴン車 ＜利用区間＞ ・ 通院及び入退院にかかる自宅と医療機関の間の送迎 ・ 入退所にかかる自宅と福祉施設の間の送迎

沓掛小学校スクールバス	
実施主体	豊明市 学校教育課
目的	沓掛小学校の登下校時の送迎
対象者	沓掛小学校児童
内容	沓掛小学校の登下校時の送迎 運行日：授業のある日等 運賃：無料

豊明市老人福祉センター・らくらす送迎バス	
実施主体	豊明市 長寿課
目的	高齢者の健康増進及び外出支援
対象者	らくらす利用者
内容	運行日：火～金曜 運賃：無料

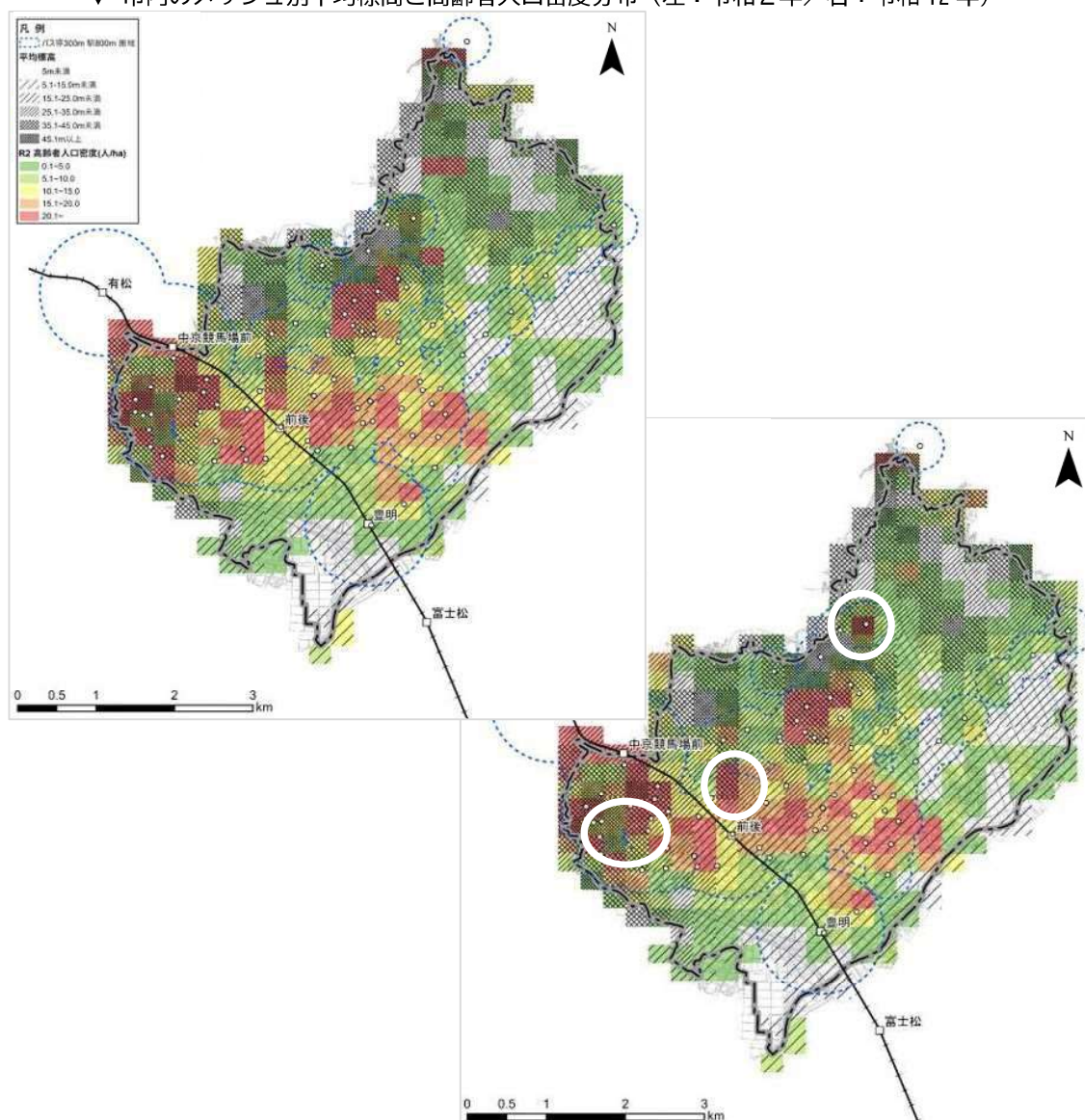
豊明市おたがいさまセンターちゃっと	
実施主体	豊明市 長寿課
目的	生活の困りごとをお互いに支え合い、安心して暮らせるまちづくりを構築
対象者	豊明市在住の高齢者又は障がい者で、困りごとのある人
内容	日常生活に必要な簡単な困りごとのお手伝い（外出の付き添い、買い物代行等） 30 分以内 250 円、1 時間以内 500 円 ＜支援できる人＞ ・ 「おたがいさま講座」を受講し、「生活サポーター」に登録された人 ・ 活動した時間を貯金し、将来、自分が困ったときに貯めた時間を活用できる

8. 課題の整理

1) 豊明市の地域特性からみた個別課題

- 0-14 歳や 15-64 歳の人口は減少している一方、65 歳以上の人口は増加する傾向が続くとされ、少子化・高齢化がさらに進行することへの対応が必要
- 勅使台や仙人塚、館小学校周辺などの高低差がある地域において、高齢者人口密度が増加すると推計されており、ファーストマイル・ラストマイルの移動手段の確保が必要
- 人流データから、市内では藤田医科大学や MEGA ドン・キホーテ UNY 豊明店、市外では名古屋市の中心部や徳重駅周辺、刈谷市の井ヶ谷地区で市民の滞留が確認されていることから、市内外での通勤・通学や買い物などの主要施設等にアクセスする公共交通ネットワークの確保が重要
- 通学流動では流入超過となっている一方で、通勤流動では流出超過の状態となっており、豊明市で学ぶ生徒・学生が住みたくなるまちづくりや働く場所の提供が重要

▼ 市内のメッシュ別平均標高と高齢者人口密度分布（左：令和2年／右：令和12年）

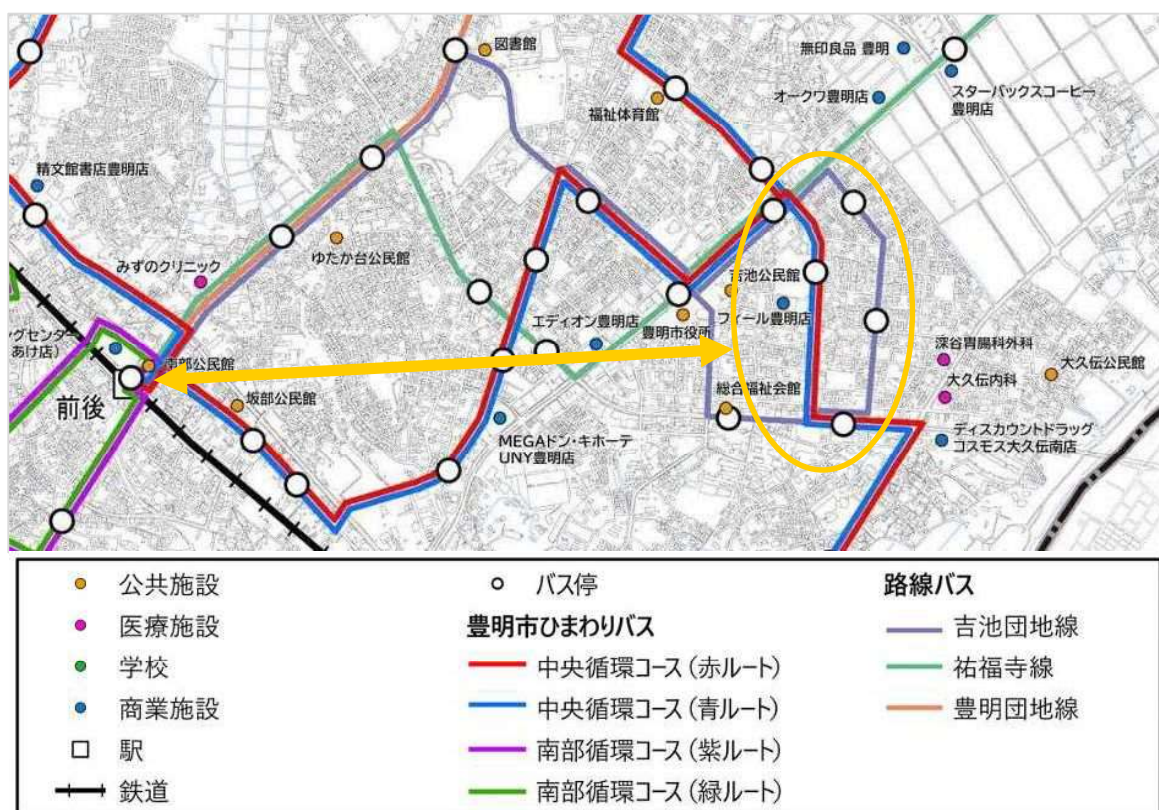


資料：e-stat（国勢調査(令和2年)、国立社会保障・人口問題研究所）、国土数値情報、豊明市

2) 公共交通の現状からみた個別課題

- 名鉄電車や名鉄バスでは、コロナ禍前の利用者数水準には届いておらず、サービス水準の維持に向けた利用者の確保のため、更なる利用促進に努めることが必要
- 名鉄電車や名鉄バスと比較して、ひまわりバスの利用者数は増加傾向が強いことから、市内移動の需要の高まりに対応した、利便増進策を展開することが必要
- 前後駅から吉池団地間においては、名鉄バスとひまわりバスのダブルネットワークとなっているため、ルートやダイヤなどにおいて調和のとれたネットワークの構築が必要

▼ 名鉄バスとひまわりバスの路線重複状況



▼ 各公共交通のコロナ禍前との利用者数比較

	R1 利用者数 (A)	R6 利用者数 (B)	R6/R1 比 (B/A)
名鉄電車	13,268,083	11,775,462	88.8%
名鉄バス	1,412,833	1,029,184	72.8%
ひまわりバス	167,459	171,166	102.2%

資料：名古屋鉄道㈱、名鉄バス㈱、豊明市

3) 各種ニーズ調査等からみた個別課題

① 市民アンケート調査

- 公共交通に関することの認知度で、電車やバスの運行自体は高い割合で認知されているものの、自宅近くのバスのダイヤや運賃、どこへ行くことができるか等の認知度が低いため、様々な媒体を活用したPR等による、周知の取組が重要
- 30歳以上の世代で公共交通に関することの認知度や利用率が低下することから、自家用車を保有しても公共交通を利用する機会を創出する体験型の取組の展開が必要

▼ 公共交通の利用頻度（鉄道、名鉄バス、ひまわりバス、タクシーのいずれかを利用した割合）

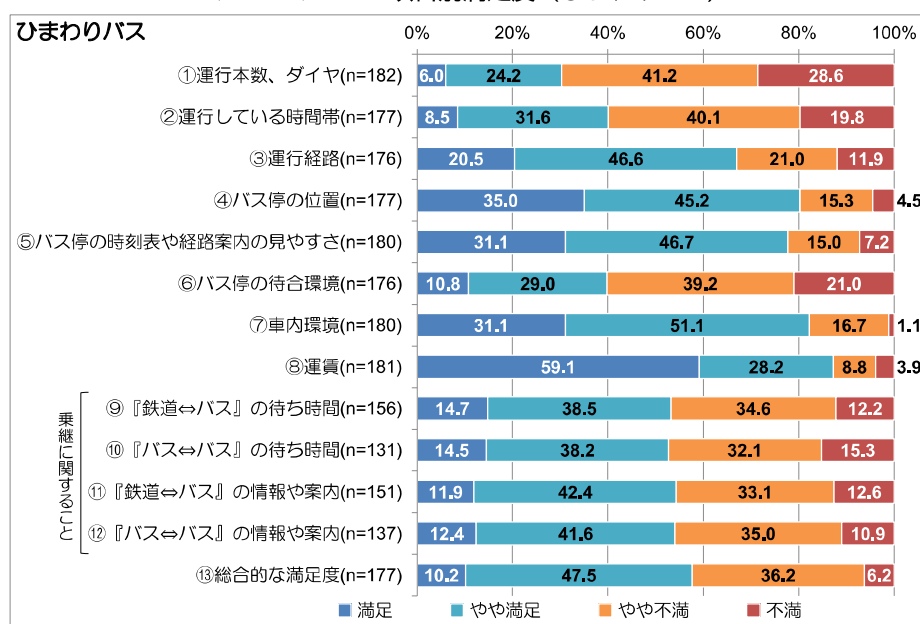
(単位：％)		29歳以下 (n=194)	30～49歳 (n=309)	50～64歳 (n=303)	65～74歳 (n=200)	75歳以上 (n=211)	合計 (n=1217)
公共交通全体	ほぼ毎日	43.8	10.4	9.6	1.5	0.0	12.2
	週に3～5日程度	6.7	5.8	1.3	2.5	2.8	3.8
	週に1～3日程度	8.8	3.6	4.6	2.0	9.5	5.4
	月に数日程度	24.2	20.1	22.8	24.0	24.2	22.8
	年に数日程度	15.5	49.7	46.8	52.5	39.8	42.3
	利用していない	1.0	10.4	14.9	17.5	23.7	13.5

資料：市民アンケート調査（令和7年）

② バス利用者アンケート調査

- 名鉄バスとひまわりバスを組み合わせる往復移動している割合が一定数みられることから、市内のバス交通が連携した利用促進策の展開が必要
- バス停位置の満足度は高い一方で、バス停の待合環境の満足度が低いことから、バス停位置の変更を伴わない待合環境の改善を進めることが必要
- ひまわりバス利用者の「乗継に関すること」の不満割合が高いことから、前後駅等におけるコース間の乗継抵抗を軽減する取組が必要

▼ バスサービス項目別満足度（ひまわりバス）

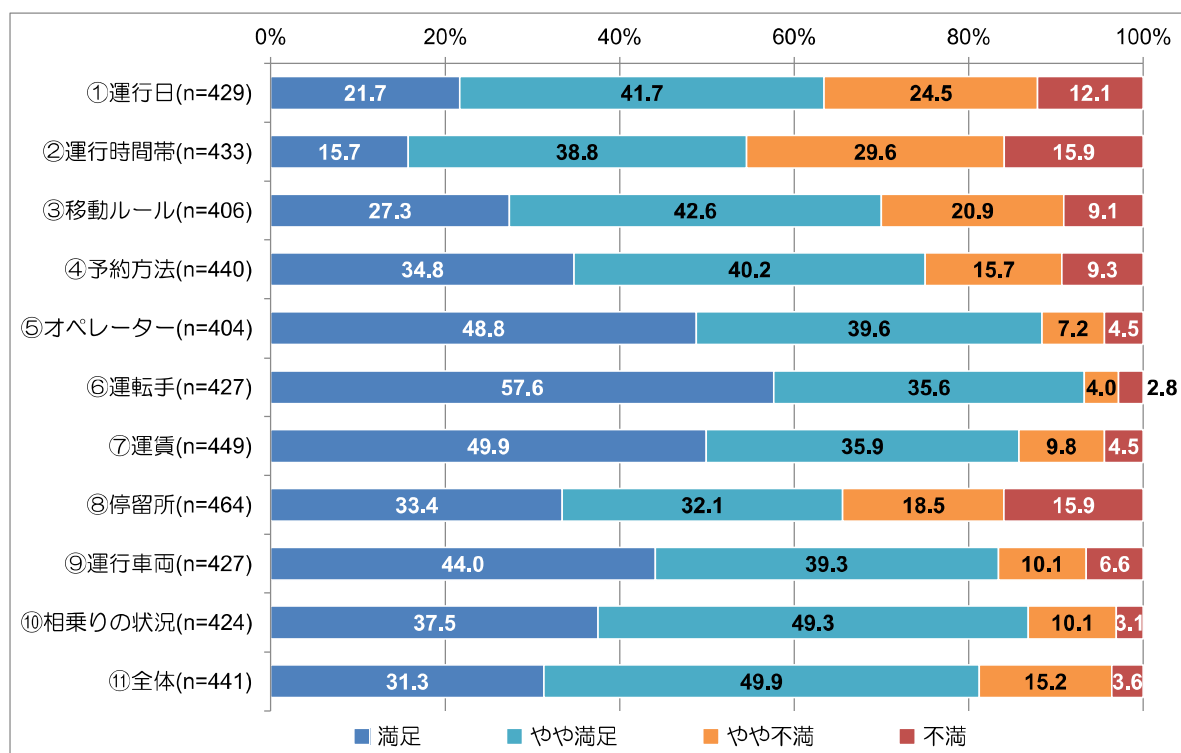


資料：バス利用者アンケート調査（令和7年）

③ チョイソコとよあけ登録者アンケート調査

- 月に複数回利用する登録者ほど、予約の成立状況において「いつも予約できる」と回答した割合が低く、また予約不成立時に別の手段を持ち合わせていない傾向にあることから、同乗率の向上や利用時間帯の分散などによる、予約が取りやすい環境づくりが必要
- 利用していない理由では「必要になったら利用する」が最も割合が高く、利用したいときに利用方法が分からない状況となることを防ぐため、利用方法を分かりやすく伝える取組が重要
- 利用しなくなった理由では「使いたい曜日や時間に使えない」が多くみられるとともに、サービス項目別満足度でも「運行日・時間帯」において他の項目よりも不満割合が高いため、チョイソコのサービス改善の実施が必要

▼ チョイソコのサービス項目別満足度



資料：チョイソコとよあけ登録者アンケート調査（令和7年）

④ 高齢者向けインタビュー調査

- タクシー運賃の助成だけでなく、ひまわりバスの乗車券等の選択も可能となる、個人それぞれで便利な交通手段を利用できるような事業に改善することを要望
- 坂道が多い地域では、自宅から停留所まで歩くことが不安といった声があり、ファーストマイル・ラストマイルの移動手段の確保が必要

⑤ 交通事業者ヒアリング調査

- 鉄道、バス、タクシーでは労働力（乗務員）不足が深刻化しており、官民で連携した労働力の確保に向けた取組が重要
- 新たな利用者の獲得として、行政で実施している既存の各種生活支援サービスとの連携による、公共交通の利用に対するハードルを下げることや、高校生に対する通学運賃補助の新規実施等を提案

⑥ 地域懇談会

- ひまわりバスに対する意見として、前後駅や市役所での乗継の改善やバスロケーションシステムの周知、体験乗車やひまわりバスツアーによる乗車きっかけ作りなどが出された
- チョイソコに対する意見として、利用日・時間の拡大や停留所の増設、待合環境の改善などが出された
- 地域でもできることとして、会議や講座・教室の時間を公共交通の時間に合わせることや、地域で移動需要を把握することなどが出された
- 住みやすいまちになるためのアイデアとして、前後駅に若い人が集まれる場所やにぎわいを創ることなどが出された

(5) 豊明市の地域公共交通の集約課題

これまで整理した個別課題に、豊明市のまちづくり全体の方針（上位・関連計画）や社会情勢を加味し、豊明市の地域公共交通の集約課題を設定します。

調査項目	個別課題	集約課題との対応				
		①	②	③	④	⑤
	0-14歳や15-64歳の人口は減少している一方、65歳以上の人口は増加する傾向が続くとされ、少子化・高齢化がさらに進行することへの対応が必要 助産台や仙入塚、館小学校周辺などの高低差がある地域において、高齢者人口密度が増加すると推計されており、フラスコモデル・ラストマイルの移動手段の確保が必要 人流データから、市内では藤田医科大学やMEGAドン・キホーテUNY 豊明店、市外では名古屋市の中心部や徳重駅周辺、刈谷市の井ヶ谷地区で市民の滞在が確認されていることから、市内外での通勤・通学や買い物などの主要施設等にアクセスする公共交通ネットワークの確保が重要 通学流動では流入超過となっている一方で、通勤流動では流出超過の状態となっており、豊明市で学ぶ生徒・学生が住みたくなくなるまちづくりや働く場所の提供が重要 名鉄電車や名鉄バスでは、コロナ禍前の利用者数水準には届いておらず、サービス水準の維持に向けた利用者の確保のため、更なる利用促進に努めることが必要 名鉄電車や名鉄バスと比較して、ひまわりバスの利用者は増加傾向が続いていることから、市内移動の需要の高まりに対応した、利便増進策を展開することが必要 前後駅から吉池団地間においては、名鉄バスとひまわりバスのダブルネットワークとなっているため、ルートやダイヤなどにおいて調和のとれたネットワークの構築が必要 公共交通に関するこの認知度で、電車やバスの運行自体は高い割合で認知されているものの、自宅近くのバスのダイヤや運賃、どこへ行くことができるか等の認知度が低いいため、様々な媒体を活用したPR等による、周知の取組が重要 30歳以上の世代で公共交通に関するこの認知度や利用率が低下することから、自家用車を保有しても公共交通を利用する機会を創出する体験型の取組の展開が必要 市内のバス交通を組合わせて往復の移動をする利用者の割合が一定数みられるため、市内のバス交通が連携した利用促進策の展開が必要 バス停留位置の満足度は高い一方で、バス停の待合環境の満足度が低いことから、バス停留位置の変更を伴わない待合環境の改善を進めることが必要 ひまわりバス利用者の「乗継に関すること」の不満割合が高く、前後駅等におけるコース間の乗継抵抗を軽減する取組が必要 1ヶ月の利用頻度が高い登録者ほど、予約の成立状況において「いつも予約できる」と回答した割合が低く、また予約不成立時に別の手段がない傾向にあることから、同乗率の向上や利用時間帯の分散などによる、予約が取りやすい環境づくりが必要 利用していない理由では「必要になったら利用する」が最も割合が高く、利用したいときに利用方法がわからない状況となることを防ぐため、利用方法を分かりやすく伝える取組が重要 利用しなくなった理由では「使いたい曜日や時間に使えない」が多くみられるとともに、サービス項目別満足度でも「運行日・時間帯」において他の項目よりも不満割合が高いため、チャイノソコのサービス改善の実施が必要 タクシー運賃の助成だけでなく、ひまわりバスの乗車券等の選択も可能となる、個人それぞれで便利な交通手段を利用できるような事業に改善することを要望 坂道が多い地域では、自宅から停留所まで歩くことが不安といった声があり、フラスコモデル・ラストマイル・ラストマイルの移動手段の確保が必要 鉄道、バス、タクシーでは労働力（乗務員）不足が深刻化しており、官民で連携した労働力の確保に向けた取組が重要 新たな利用者の獲得として、行政で実施している既存の各種生活支援サービスとの連携による、公共交通の利用に対するハードルを下げることや、高校生に対する通学通賃補助の新規実施等を提案 ひまわりバスに対する意見として、前後駅や市役所での乗継の改善や、バス利用のきっかけ作りなどが出された チャイノソコに対する意見として、利用日・時間の拡大や停留所の増設、待合環境の改善などが出された 地域で出来ることとして、会議や講座等の時間を公共交通に合わせることや、地域で移動需要を把握することなどが出された 住みやすいまちになるためのアイデアとして、前後駅に若い人が集まれる場所やにぎわいを創ることなどが出された 公共交通の確保・維持のため、現在の生活スタイルに合わせつつ、利用者の掘り起こしや外出機会を創出する取り組みが必要 まちづくりと連携した公共交通ネットワークを構築することが必要	●	●	●	●	●

【公共交通を取り巻く社会情勢】

- 公共交通と他分野との共創事業の推進
 - 公共交通と健康の関係性
 - MaaSの普及
 - 運転手不足の深刻化
 - 日本版ライドシェアの創設
- 【豊明市の上位・関連計画】
- 地域公共交通における交通将来像
 - 「公共交通が人々をつなぐしあわせのまち」
 - 第6次豊明市総合計画における将来都市像
- 「未来へつなぐ みんなでつくる しあわせのまち とよあけ」
→公共交通分野が含まれる「住環境」では“気軽に外出でき、生活しやすいいきいなまち”を施策大綱としている

集約課題① 広域的な移動に対応した公共交通の確保・維持

集約課題② 市内生活での移動需要の高まりへの対応

集約課題③ まちづくりとリンクした公共交通体系の構築

集約課題④ DXの活用や外出促進の取り組みによる、利用機会増進策の展開

集約課題⑤ 集約課題⑤ 市民や各種事業者などが協力した公共交通関連事業の拡大

チョイソコとよあけのアップデートについて

1. 現状

(1) チョイソコとよあけ（デマンド交通）2台運行

民間企業と連携し、地域の交通不便の解消と高齢者の外出促進を目的とした停留所間で乗降する乗り合い送迎サービス。利用者の希望に応じた時間と乗降場所を予約受付し、目的地まで運行。

運賃：1乗車200円 運行日：平日の午前9時～午後4時まで運行

会員登録：豊明市民で①～③のいずれかに該当する方。

- ①満65歳以上の方
- ②障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
- ③交通不便地域に居住している小学生以上65歳未満の方



ハイエース客席8席

(2) これまでの取り組み

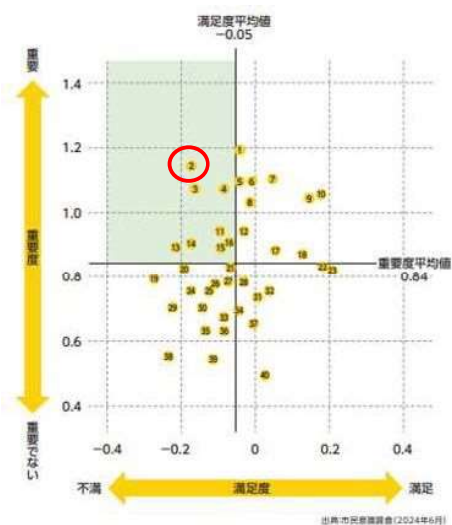
年 度	取 り 組 み
2018 年度	無償実証
2019 年度	有償実証（道路運送法 21 条）
2020 年度	↓
2021 年度	本格運行（同 4 条）
2022 年度	↓
2023 年度	↓
2024 年度	阿野町荻外山・上石田地区導入
2025 年度	大脇地区導入

(3) 公共交通ネットワーク図



2. チョイソコの課題の整理

(1) 市の施策に対する重要度・満足度



- 1 子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
- 2 交通の利便性を高め、移住を促し、通勤・通学しやすくなるようにする
- 3 利用者が安心して通行できる道路環境をつくる
- 4 教育や子どもに関する予算を確保し、教育環境を整える
- 5 子どもへのいじめや自殺、引きこもりを減らす
- 6 善悪の区別ができる子どもを育てる
- 7 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する
- 8 災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する
- 9 明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる
- 10 市民が安心できる医療や福祉の拠点を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
- 11 子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上する環境をつくる
- 12 子どもが元気に外で遊べるまちをつくる
- 13 積極的に市民の意見を聞いて上げる
- 22 ごみが落ちていないきれいなまちをつくる
- 23 きれいな空気を保全する
- 24 若い人の豊明市への愛着を深め、新しい完成を活かしたまちづくりを推進する
- 25 将来グローバルに活躍できる子どもを育てる
- 26 市民にとって必要な情報や行政の取組を市民に分かりやすく提供する
- 27 女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる
- 28 子どもがずっと育ってきたとよあけを大好きになる環境をつくる
- 29 若い人たちの地元での就労を促進する
- 30 若い世代が地域活動で活躍し、地域の自治力を高める
- 31 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活躍できるまちをつくる
- 32 子どもが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる
- 33 顧客サービス向上の意識を高め、市民本位の仕事をする
- 34 元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる

次期総合計画の改訂に向けて、第5次総合計画(2016～2025年)に掲げた市が推進している施策40項目のうち、重要度が高く、不満度が高い項目として公共交通が該当しており、あらゆる施策の中でも公共交通に対する市民の期待値が高い状況にある。

(2) 公共交通に関する市民アンケート調査（2025 年 9 月）

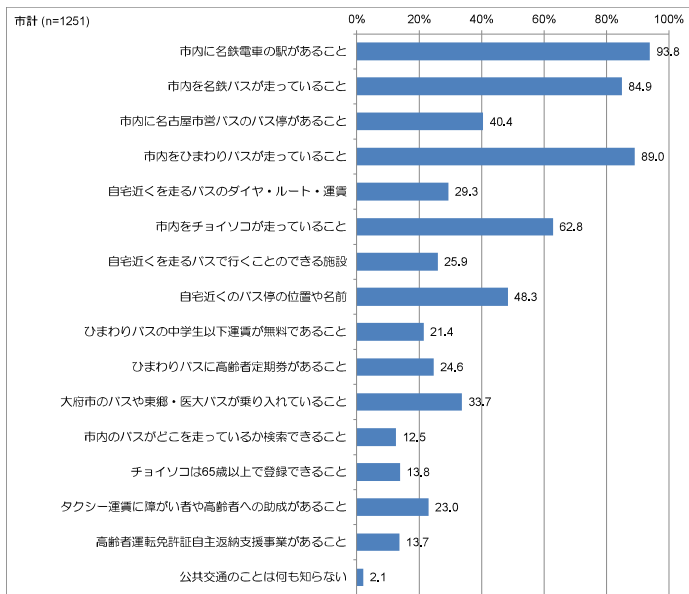
・市内公共交通に関する認知度

ほぼすべての方が市内に鉄道やバスが運行していることを知っている一方で、チョイソコの認知度は6割程度であった。また、自宅近くのバス停の位置や名称を知っている方が5割程度、自宅近くを走るバスのダイヤやルート、運賃を知っている方は3割程度であった。

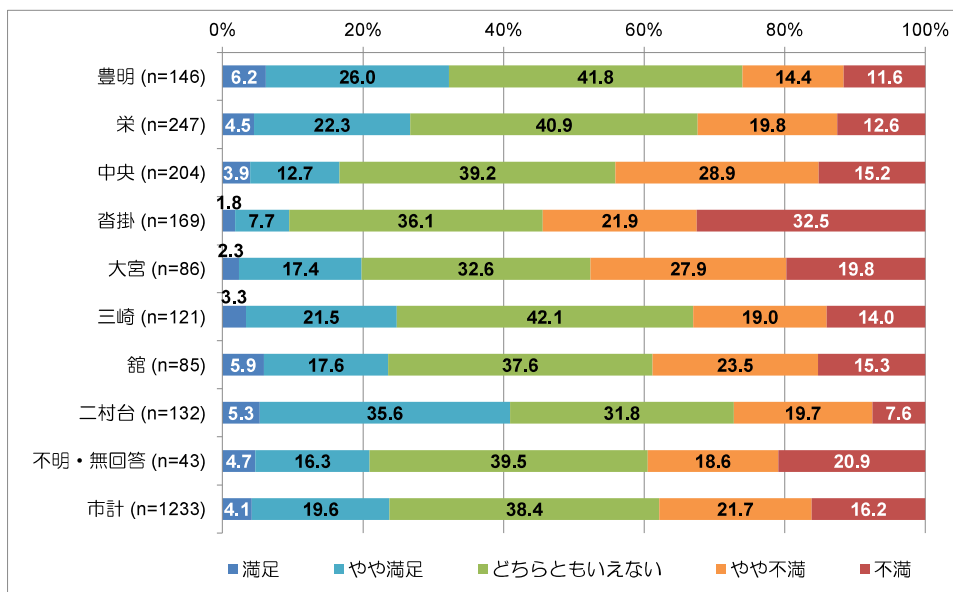
・市内の公共交通全体の満足度

公共交通全体の満足度では、満足・やや満足の割合は 23.7%に対し、不満・やや不満の割合は 37.9%と不満割合の方が高い。また地域による満足度の差が大きく、二村台地区は満足度が高いのに対し、沓掛地区は不満度が半数以上の割合となっている。

▼公共交通について知っていること（複数回答）



▼市内の公共交通全体の満足度



(3) チョイソコ登録者アンケートの分析

地域公共交通調査事業のアンケートより、チョイソコでは運行日・運行時間帯・停留所の位置・予約状況に関する不満度が比較的高い状況にあることが分かりました。チョイソコの運行を開始してから7年が経過し、社会情勢や市民の需要も変わりつつある中で、より良い事業内容に向かってアップデートが求められています。

【チョイソコの満足度】



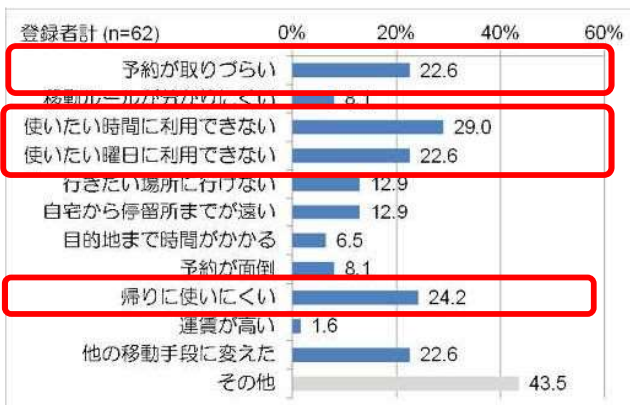
運行日・時間帯・停留所の位置に関する不満度が比較的高い状況にある。

【普段どのくらい予約が取れるか】



利用者の主観として満足に予約が取れない状況にある。

【チョイソコを利用しなくなった理由】



チョイソコを利用しなくなった方の理由では、利用時間や曜日、予約の取りづらさなどが高い傾向にある。

3. チョイソコの運行内容のアップデート

(1) チョイソコ車両の増車

- ・現行 2台（ハイエース 客席8席）
- ・増車 1台（ノア（又は同等車両） 客席5席）

チョイソコ利用者のうち50%以上の方が満足に予約できないと感じている。利用機会の損失やチョイソコへの満足度の低下の原因となっているため、需要に見合った供給量を確保する目的で増車対応を行う。

- ・11人乗り未満車両を使用する理由：営業区域内の狭隘道路を運行するため。また現状の乗合率（1.4～1.5）を勘案し利用者の利便を損なう恐れがないため。

(2) 運行時間の拡大

①現状と課題

- ・チョイソコの運行時間延長については、単なる利便性向上ではなく、移動支援が必要な対象者への行政支援という観点で再整理。
- ・昼間時間帯については、1台増車により現行の9時から16時までで通院や買い物需要に一定程度対応できると思われる。
- ・一方で、豊明市における交通課題は、公共交通全体における満足度について地域差が大きいこと。チョイソコの運行日・時間帯・停留所の位置に関する不満度が比較的高い状況にあること。市の公共交通に求められる役割として、通勤・通学、通院・買い物、車を利用していない人の移動手段としての重要度が高い状況にあること。
- ・交通不便地域に住んでいる学生や就労者などで自家用車を持たない層は、朝夕の時間帯に運行している公共交通機関がないため、自転車や家族送迎に依存しているケースが多く、子育て世帯の負担増加や公共交通利用機会の損失につながっている。

②基本的な考え方

単なる運行時間の延長ではなく、「高齢者支援」に加え、「子育て世帯支援」「若者の定住促進」「公共交通利用促進」を視野に入れたチョイソコのアップデートを行う。

③運行拡大

【朝】 7:30～ 9:00

主な目的：通勤・通学需要に対応

【昼間】 9:00～16:00

主な目的：主に高齢者の外出促進、通院・買い物需要に対応

【夕方】 16:00～18:00

主な目的：通勤・通学需要に対応

※朝、夕方の運行については約1年程度の実証運行を実施したうえで制度設計について検討。

(3) 会員対象者の拡大

チョイソコ会員条件：豊明市民で以下のいずれかに該当する方。

- ① 満 65 歳以上の方
- ② 障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
- ③ 交通不便地域に居住している小学生以上 65 歳未満の方
- ④ 豊明市が指定する方（追加）

※指定する対象者は公共交通会議で事前承認を行う。

※今回の対象者は教育委員会から依頼があった不登校児童・生徒で移動の支援が必要な人を対象とし、個々に焦点をあてた交通空白の解消を目的とする。

(4) 今後の予定

変更点	・ 車両の 1 台増車 ・ 運行時間の変更 ・ 会員条件の変更	今回の協議では、営業区域、運行系統、運賃の種類、額及び適用方法は変更はなし
適用日	令和 9 年 2 月 1 0 日	車両の納車時期により適用日が異なる場合があるため、変更がある場合は、公共交通会議にて事後報告する

時期	内容
令和 8 年 7 月	交通会議で協議
令和 8 年 9 月	9 月補正予算で上程予定（運行時間の変更）
令和 8 年 1 0 月～令和 9 年 1 月	運行システムの更新、運輸支局への届出
令和 9 年 2 月	適用開始